

藤岡市子ども・子育て支援事業計画に係る ニーズ調査結果報告書

【概要版 調査内容抜粋】

※質問番号については、概要版（抜粋）のため連番となっております。

平成 31 年 3 月

藤岡市 健康福祉部 子ども課

目 次

1 調査の概要	
(1) 調査の目的	2
(2) 調査の種類、対象者及び実施概要	2
(3) 回収結果	2
2 集計方法	
(1) 報告書の見方	2

就学前児童調査

1 住まいの地域について	3
2 家族の状況について	4
3 子育てをめぐる環境について	7
4 保護者の就労状況について	10
5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	15
6 地域の子育て支援事業の利用状況について	25
7 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	30
8 病気の際の対応について	33
9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	37
10 小学校に入学してからの放課後の過ごし方について	41
11 育児休業や短時間勤務制度などについて	47
12 子育ての情報や環境、子育てへの意識、市の施策について	56
13 子育ての環境や支援に関する意見（自由意見）まとめ	60

1 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、幼稚園・保育所・学童保育室などの教育・保育・子育て支援を計画的に整備※するために、市民の利用状況や利用希望を把握することを目的としています。〔この調査の回答（施設や事業の利用希望等）により、施設や事業の利用の可否を決定することはありません〕

※子ども・子育て支援法に基づき、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、市町村が「子ども・子育て支援事業計画」を作成します。

(2) 調査の種類、対象者及び実施概要

この調査の種類と対象者及び実施概要は下表のとおりです。

●調査の種類と対象者

種類	対象者	対象者数
就学前児童	平成30年10月1日現在、住民基本台帳に掲載されている就学前の児童を無作為抽出	2,000人

●実施概要

種類	対象地域	調査形式	配布・回収方法	調査時期
就学前児童	藤岡市全域	アンケート調査	郵送配布 郵送回収	平成30年 10月22日～12月21日

(3) 回収結果

この調査の回収結果は下表のとおりです。

●回収結果

区分	調査票配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	2,000	843	42.1%

2 集計方法

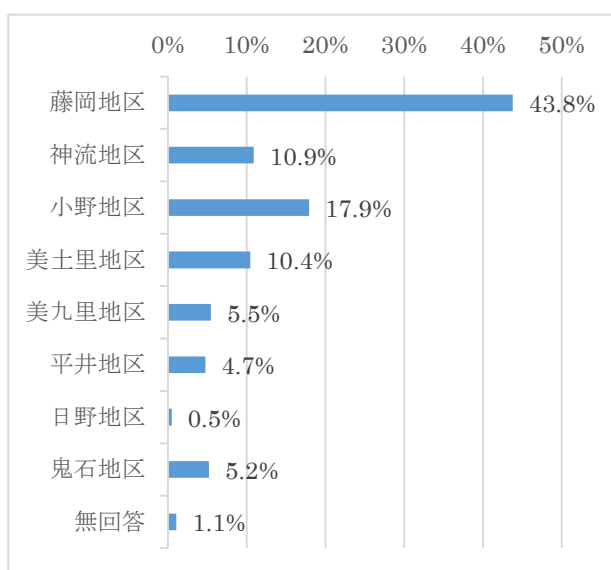
(1) 報告書の見方

- ・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱う。
- ・本報告書では、回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱う。
- ・設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（%）で示している。したがって、非該当者数は、構成比に含まれない。
- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入し算出しているため合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答については、回答者数を基数として百分率（%）で示している。したがって、合計値は100%にならない場合もある。

1 お住いの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

居住地区は、「藤岡地区」の割合が43.8%と最も高く、次いで「小野地区」が17.9%、「神流地区」が10.9%となっています。

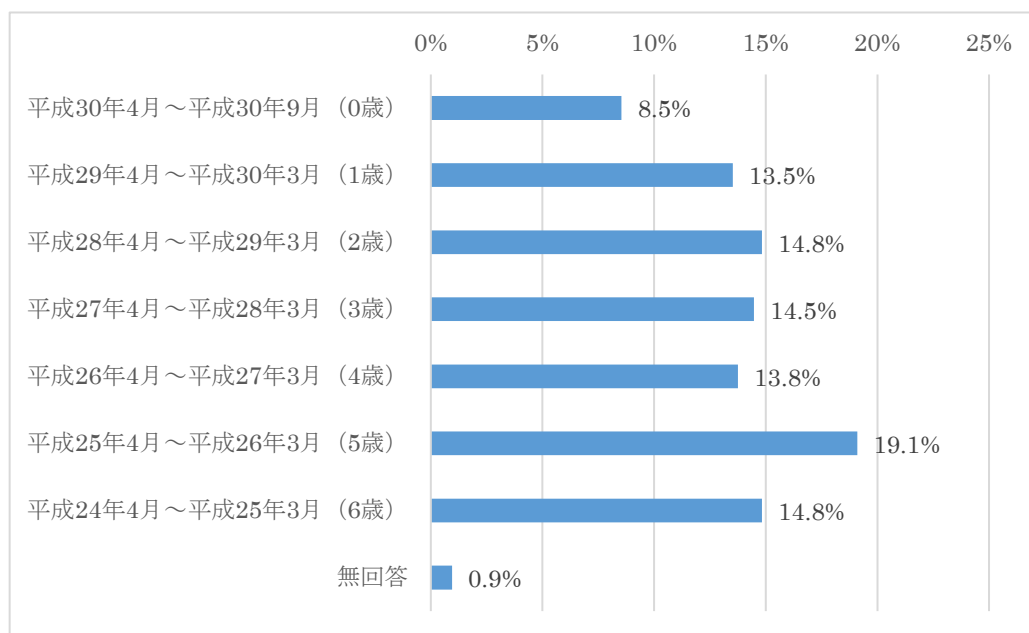


項目	度数	構成比
藤岡地区	369	43.8%
神流地区	92	10.9%
小野地区	151	17.9%
美土里地区	88	10.4%
美九里地区	46	5.5%
平井地区	40	4.7%
日野地区	4	0.5%
鬼石地区	44	5.2%
無回答	9	1.1%
回答者数	843	100.0%

2 封筒の宛名のお子さんをご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月日をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

子どもの年齢(平成31年4月1日基準)は、「5歳」の割合が19.1%と最も高く、ほかはそれぞれ14%前後と同程度の分布となっています。



生年月日 (年齢)	度数	構成比
平成30年4月～平成30年9月 (0歳)	72	8.5%
平成29年4月～平成30年3月 (1歳)	114	13.5%
平成28年4月～平成29年3月 (2歳)	125	14.8%
平成27年4月～平成28年3月 (3歳)	122	14.5%
平成26年4月～平成27年3月 (4歳)	116	13.8%
平成25年4月～平成26年3月 (5歳)	161	19.1%
平成24年4月～平成25年3月 (6歳)	125	14.8%
無回答	8	0.9%
回答者数	843	100.0%

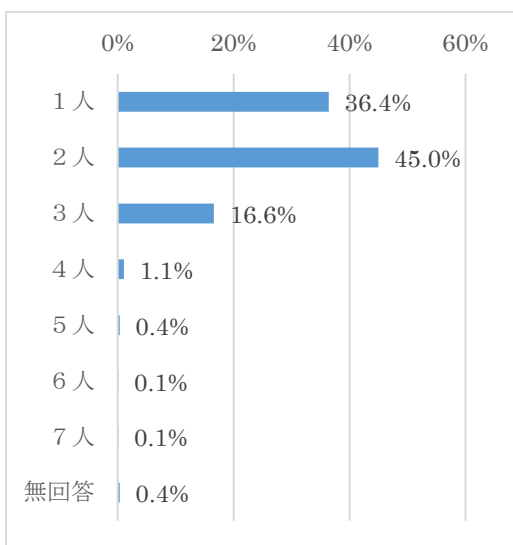
※年齢算出基準日：平成31年4月1日

問3 宛名のお子さんも含め、何人のお子さんがいらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

1世帯あたりの子どもの人数は、「2人」の割合が45.0%と最も高く、次いで「1人」が36.4%、「3人」が16.6%となっています。

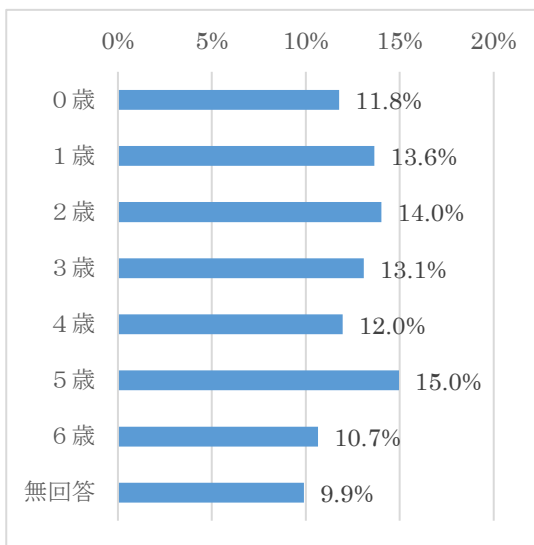
また、2人以上のきょうだいがいる世帯の末子の年齢は、「5歳」の割合が15.0%と最も高くなっています。

■きょうだい数



項目	度数	構成比
1人	307	36.4%
2人	379	45.0%
3人	140	16.6%
4人	9	1.1%
5人	3	0.4%
6人	1	0.1%
7人	1	0.1%
無回答	3	0.4%
回答者数	843	100.0%

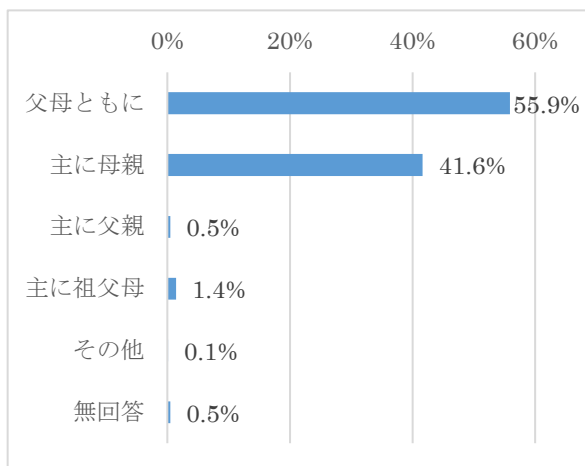
■末子の年齢



項目	度数	構成比
0歳	63	11.8%
1歳	73	13.6%
2歳	75	14.0%
3歳	70	13.1%
4歳	64	12.0%
5歳	80	15.0%
6歳	57	10.7%
無回答	53	9.9%
回答者数	535	100.0%
非該当	308	—

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

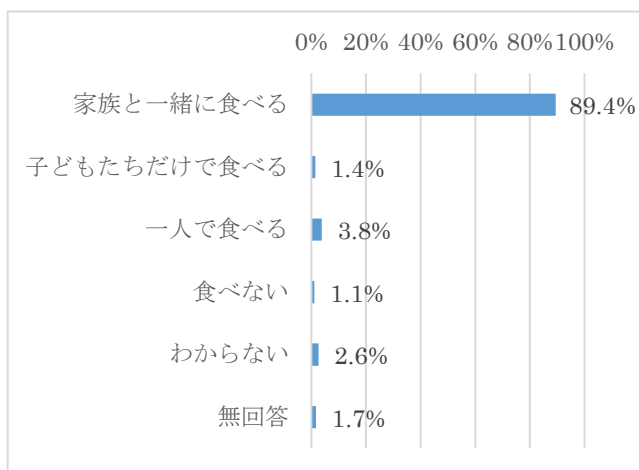
子どもの子育て（教育を含む）を主に行っているのは、「父母ともに」の割合が55.9%と最も高く、「主に母親」が41.6%と続いています。



項目	度数	構成比
父母ともに	471	55.9%
主に母親	351	41.6%
主に父親	4	0.5%
主に祖父母	12	1.4%
その他	1	0.1%
無回答	4	0.5%
回答者数	843	100.0%

問8 宛名のおさんは、普段どのように「夕食」を食べていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもの夕食を食べる状況は、「家族と一緒に食べる」の割合が89.4%と最も高く、「一人で食べる」が3.8%、「子どもたちだけで食べる」が1.4%となっています。

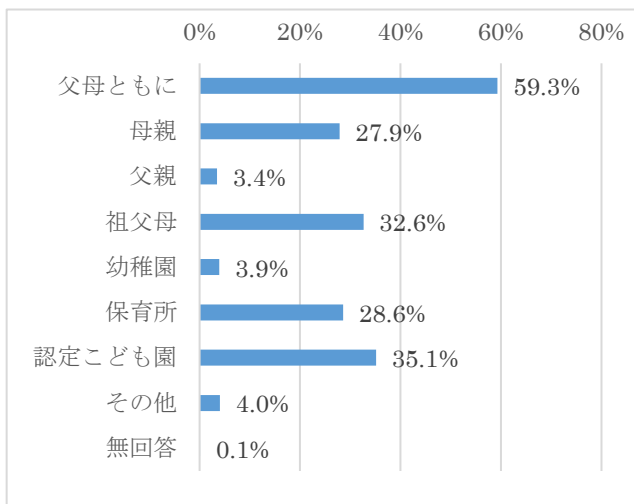


項目	度数	構成比
家族と一緒に食べる	754	89.4%
子どもたちだけで食べる	12	1.4%
一人で食べる	32	3.8%
食べない	9	1.1%
わからない	22	2.6%
無回答	14	1.7%
回答者数	843	100.0%

3 子育てをめぐる環境について

問 12 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

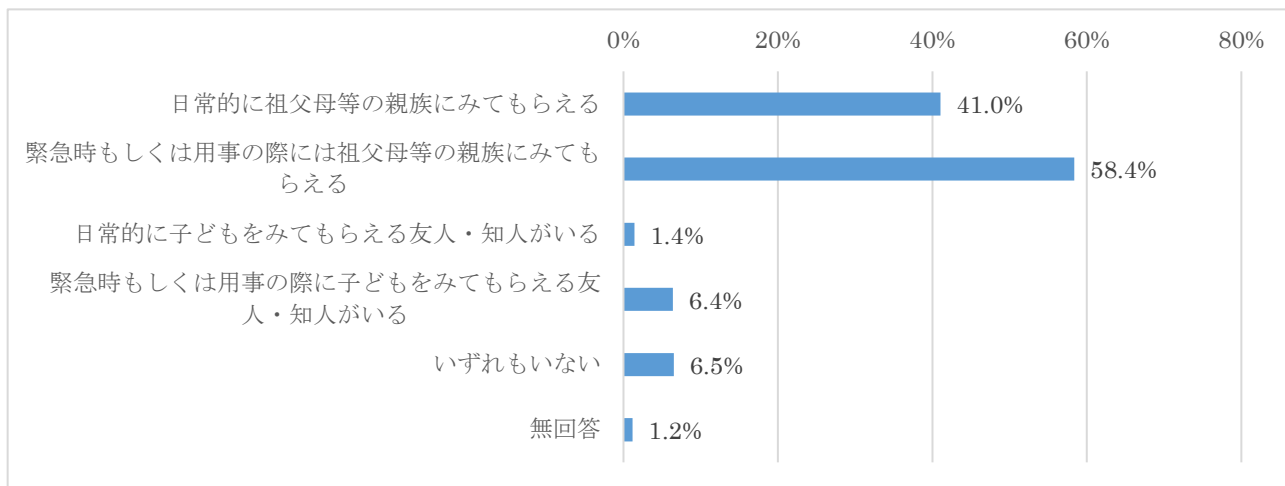
子どもの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方は、「父母ともに」の割合が 59.3%と最も高く、続いて「認定こども園」が 35.1%となっています。また、「祖父母」の割合も 32.6%と比較的高くなっています。



項目	度数	構成比
父母ともに	500	59.3%
母親	235	27.9%
父親	29	3.4%
祖父母	275	32.6%
幼稚園	33	3.9%
保育所	241	28.6%
認定こども園	296	35.1%
その他	34	4.0%
無回答	1	0.1%
回答者数	843	—

問 14 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

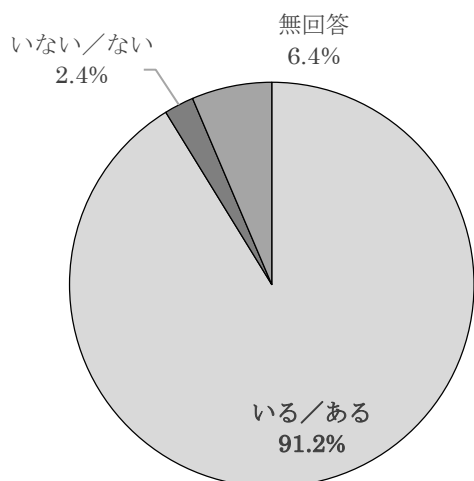
日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 58.4%と最も高く、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 41.0%と続いています。



項目	度数	構成比
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	346	41.0%
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	492	58.4%
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	12	1.4%
緊急時もしくは用事の際に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	54	6.4%
いずれもない	55	6.5%
無回答	10	1.2%
回答者数	843	—

問 15 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

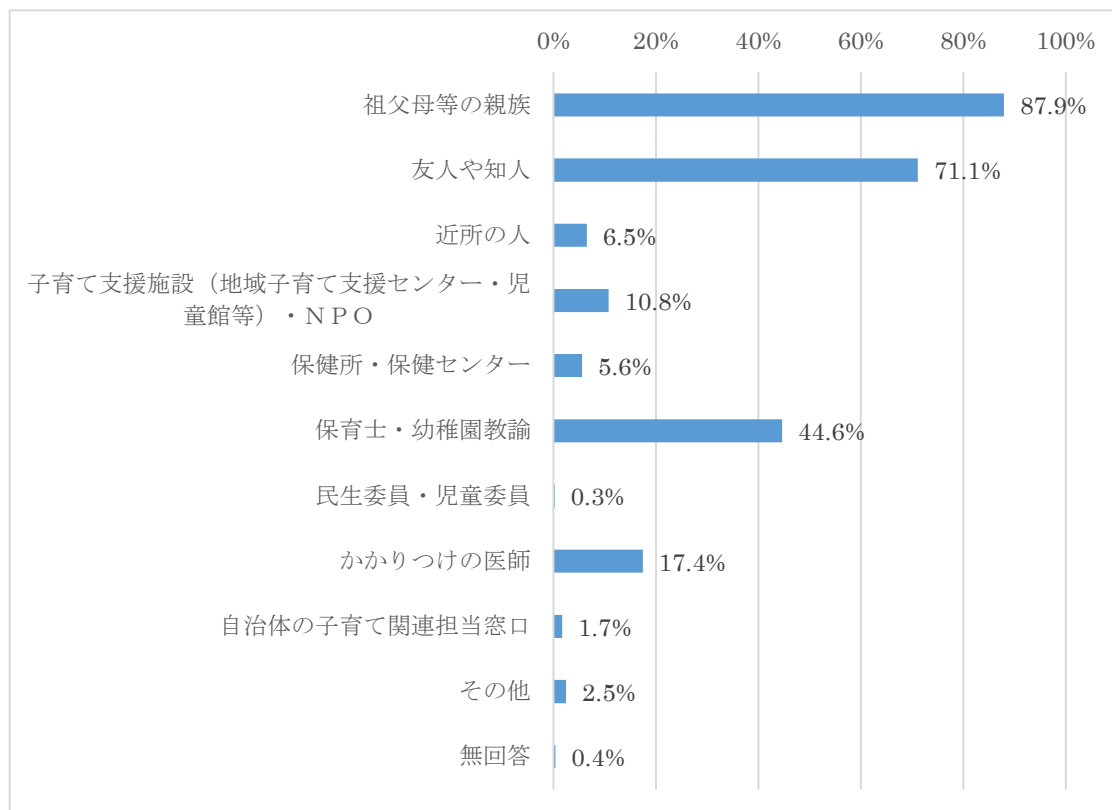
子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人及び場所の有無は、「いる／ある」が 91.2%に対し、「いない／ない」が 2.4%と、「いる／ある」の割合が大きく上回っています。



項目	度数	構成比
いる／ある	769	91.2%
いない／ない	20	2.4%
無回答	54	6.4%
回答者数	843	100.0%

問 15-1 問 15 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、「祖父母等の親族（87.9%）」「友人や知人（71.1%）」の割合がいずれも7割を超え高くなっています。



項目	度数	構成比
祖父母等の親族	676	87.9%
友人や知人	547	71.1%
近所の人	50	6.5%
子育て支援施設（地域子育て支援センター・児童館等）・NPO	83	10.8%
保健所・保健センター	43	5.6%
保育士・幼稚園教諭	343	44.6%
民生委員・児童委員	2	0.3%
かかりつけの医師	134	17.4%
自治体の子育て関連担当窓口	13	1.7%
その他	19	2.5%
無回答	3	0.4%
回答者数	769	—
非該当	74	—

4 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

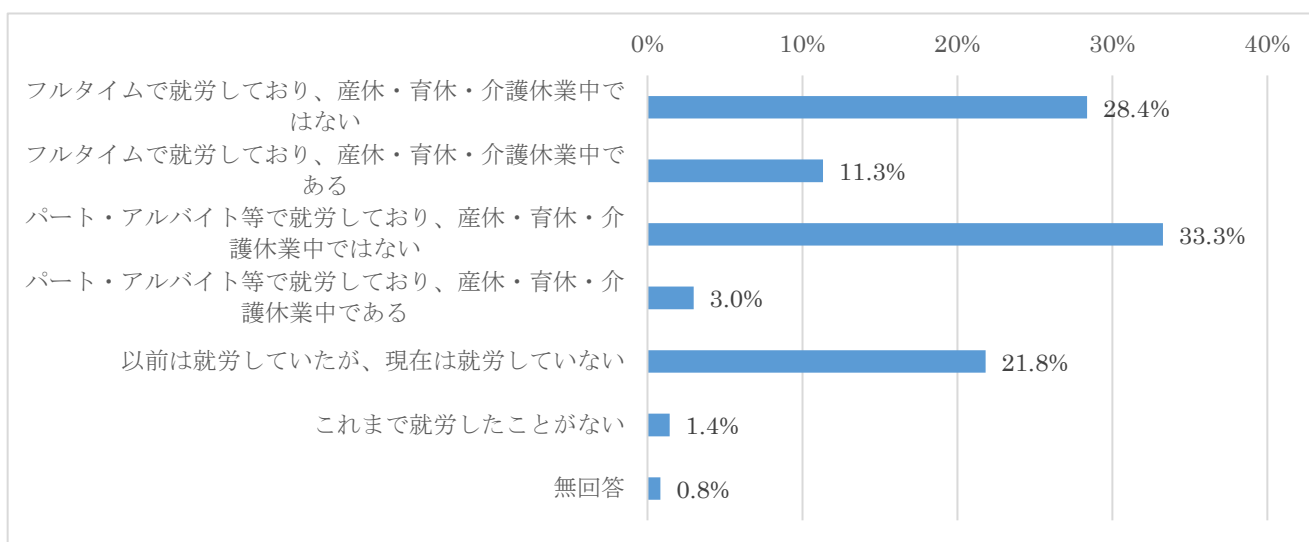
問17 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の就労状況は、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が33.3%と最も高く、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合は28.4%となっています。

産休・育休・介護休業中の割合は、フルタイムとパートタイムを含め14.3%となっています。

また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合は21.8%となっています。

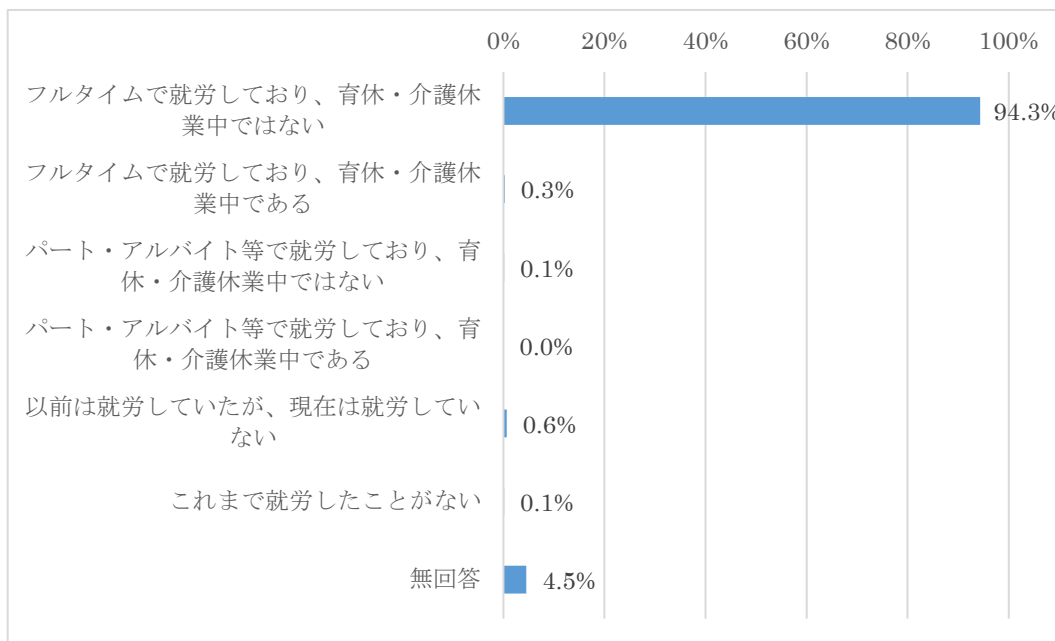


項目	度数	構成比
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	238	28.4%
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中である	95	11.3%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	279	33.3%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中である	25	3.0%
以前は就労していたが、現在は就労していない	183	21.8%
これまで就労したことがない	12	1.4%
無回答	7	0.8%
回答者数	839	100.0%
非該当	4	—

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父親」の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が94.3%と最も高くなっています。

育休・介護休業中の割合は、フルタイムは0.3%で、パートタイムはありません。



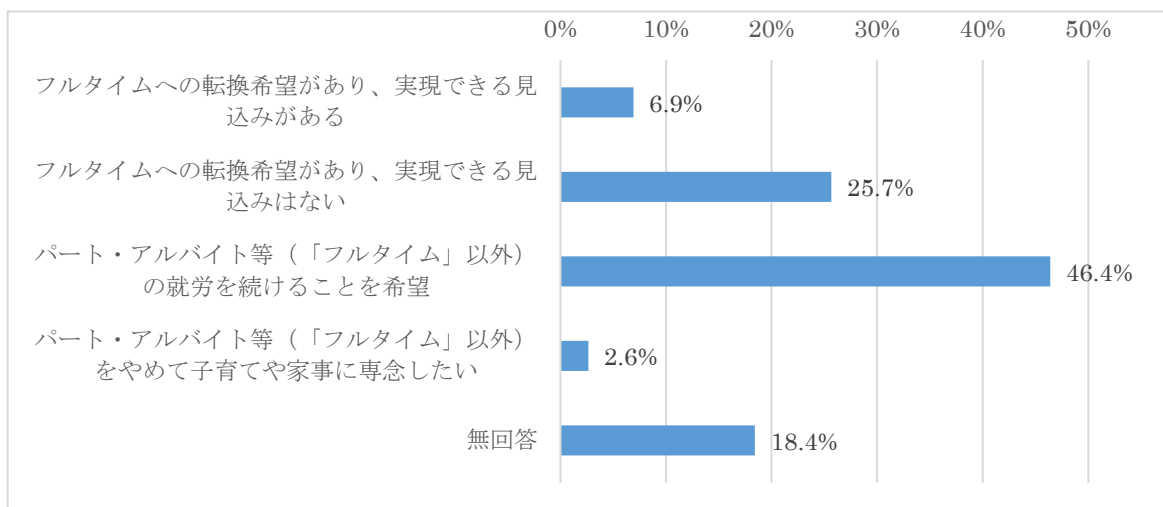
項目	度数	構成比
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	733	94.3%
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中である	2	0.3%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	1	0.1%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中である	0	0.0%
以前は就労していたが、現在は就労していない	5	0.6%
これまで就労したことがない	1	0.1%
無回答	35	4.5%
回答者数	777	100.0%
非該当	66	—

**問 18 問 17 の (1) または (2) で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方
にうかがいます。**

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

パート・アルバイト等で就労している「母親」のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等
（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が 46.4%と最も高く、「フルタイム（1週5
日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合は 6.9%、「フル
タイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割
合は 25.7%となっています。



項目	度数	構成比
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	21	6.9%
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みはない	78	25.7%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	141	46.4%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	8	2.6%
無回答	56	18.4%
回答者数	304	100.0%
非該当	530	—

問 19 問 17 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

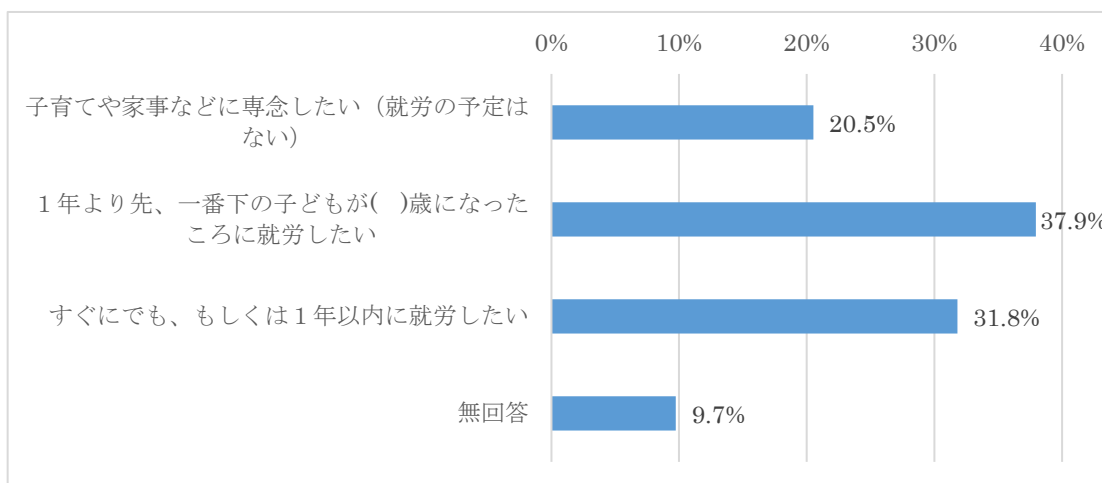
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した「母親」の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい」の割合が37.9%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が31.8%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が20.5%となっています。

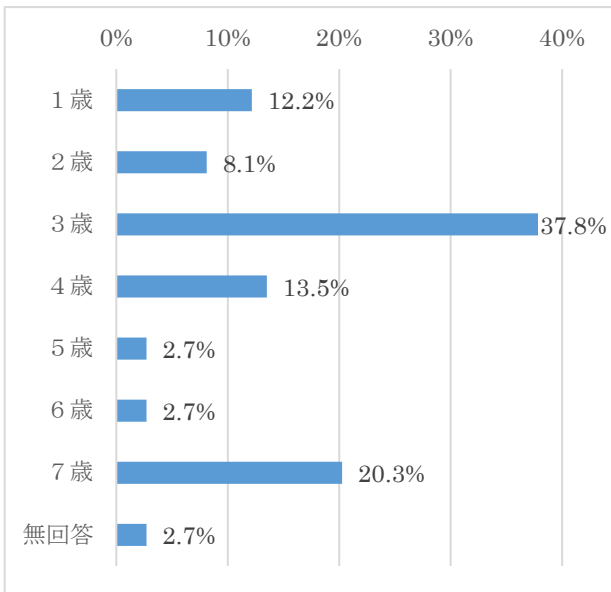
また、就労を希望する時期（一番下の子どもの年齢）は、「3歳」の割合が37.8%と最も高くなっています。

さらに、現在就労していない「母親」の今後希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等（フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）以外）」の割合が47.8%と高くなっています。希望する就労形態がパートタイム・アルバイト等の場合の、1週あたりの勤務日数及び1日あたりの勤務時間は、「4日（41.5%）」、「3～5時間（67.7%）」の割合がいずれも高くなっています。



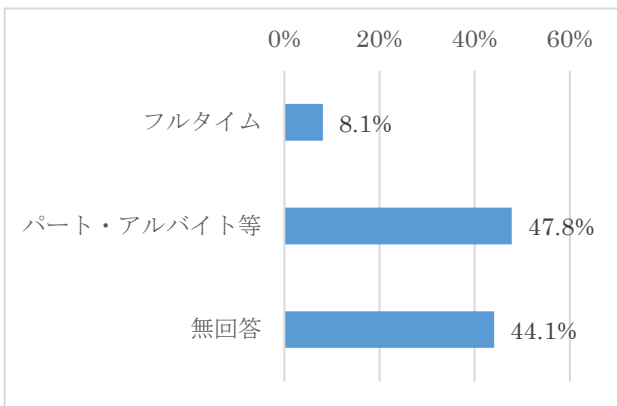
項目	度数	構成比
子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	40	20.5%
1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい	74	37.9%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	62	31.8%
無回答	19	9.7%
回答者数	195	100.0%
非該当	639	—

■就労を希望する時期（子どもの年齢）



項目	度数	構成比
1歳	9	12.2%
2歳	6	8.1%
3歳	28	37.8%
4歳	10	13.5%
5歳	2	2.7%
6歳	2	2.7%
7歳	15	20.3%
無回答	2	2.7%
回答者数	74	100.0%
非該当	760	—

■希望する就労形態



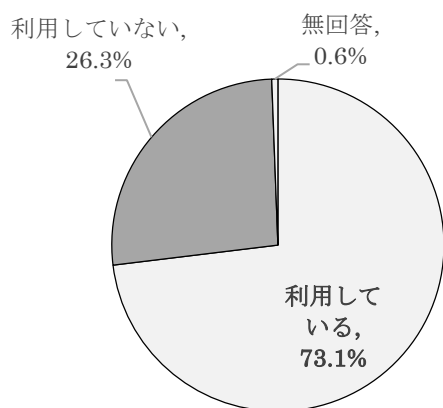
項目	度数	構成比
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	11	8.1%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）	65	47.8%
無回答	60	44.1%
回答者数	136	100.0%
非該当	698	—

5 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 21-1 に示した事業が含まれます。

問 21 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

定期的な教育・保育の事業の利用状況は、「利用している」の割合が 73.1%に対し、「利用していない」が 26.3%と、「利用している」割合が上回っています。

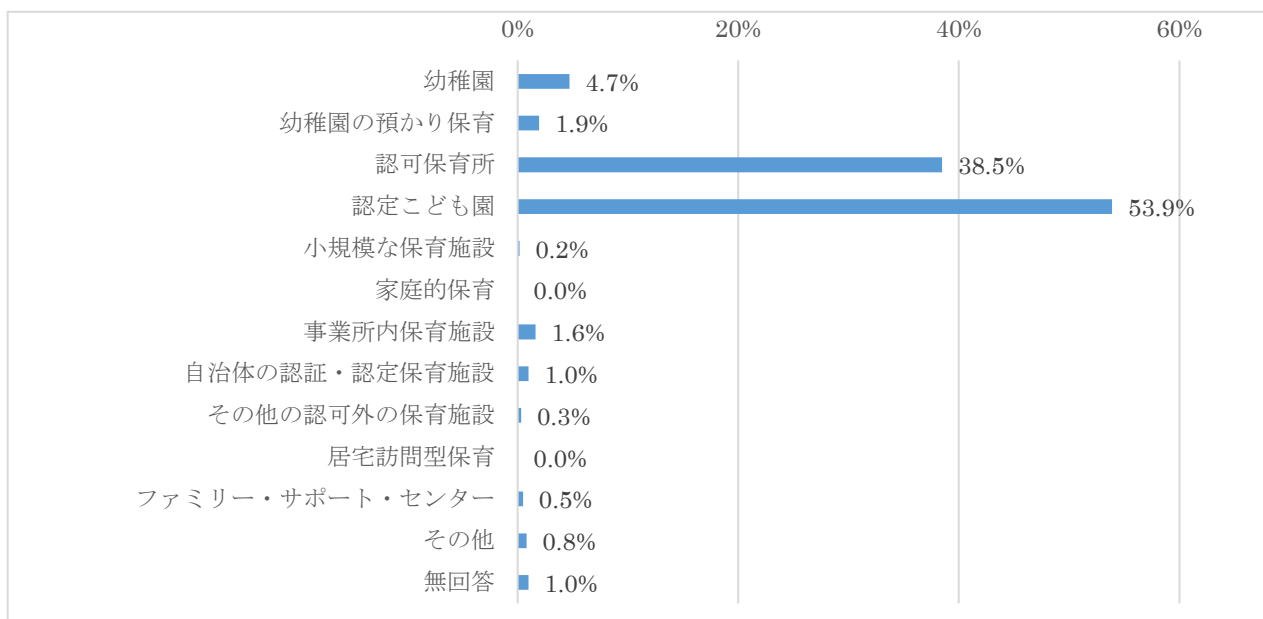


項目	度数	構成比
利用している	616	73.1%
利用していない	222	26.3%
無回答	5	0.6%
回答者数	843	100.0%

問 21-1 問 21-1～問 21-4 は、問 21 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日の教育・保育の事業の利用種別は、認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）の割合が 53.9%と最も高く、次いで「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」が 38.5%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 4.7%となっています。



項目	度数	構成比
幼稚園（通常の就園時間の利用）	29	4.7%
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	12	1.9%
認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）	237	38.5%
認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	332	53.9%
小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね 6～19 人のもの）	1	0.2%
家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）	0	0.0%
事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	10	1.6%
自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	6	1.0%
その他の認可外の保育施設	2	0.3%
居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）	0	0.0%
ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	3	0.5%
その他	5	0.8%
無回答	6	1.0%
回答者数	616	—
非該当	227	—

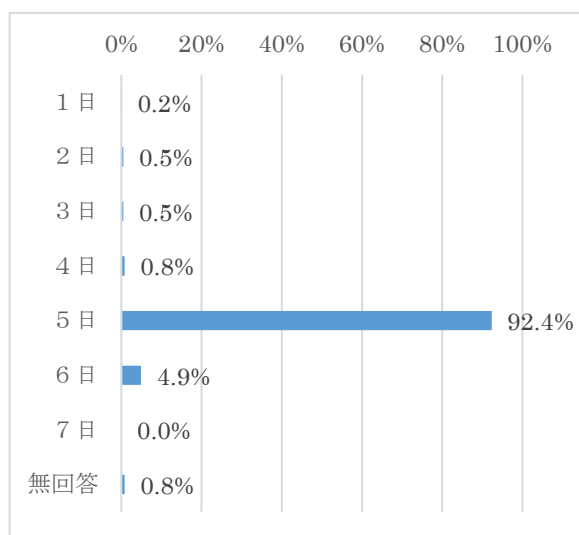
問 21-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週あたり何日、1 日あたり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

（1）現在

平日の教育・保育の事業の日数などの利用状況は、1 週あたりの日数については、「5 日」の割合が 92.4%、1 日あたりの時間については、「7 時間～10 時間」の割合が 80.8%と、それぞれ最も高くなっています。

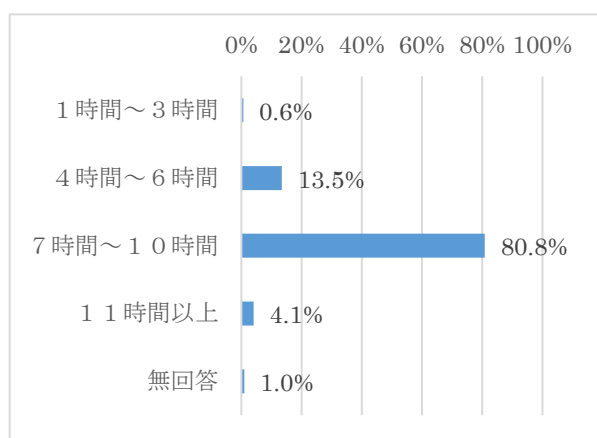
また、利用時間帯は、登園時刻については、「8 時（44.3%）」「9 時（45.6%）」、帰宅時刻については、「16 時（41.1%）」「17 時（21.8%）」「18 時（20.6%）」の割合が比較的高くなっています。

■ 1 週あたり日数



項目	度数	構成比
1 日	1	0.2%
2 日	3	0.5%
3 日	3	0.5%
4 日	5	0.8%
5 日	569	92.4%
6 日	30	4.9%
7 日	0	0.0%
無回答	5	0.8%
回答者数	616	100.0%
非該当	227	—

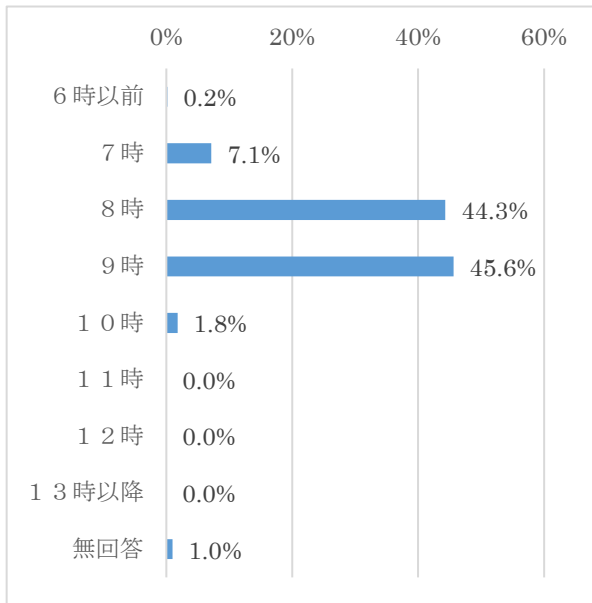
■ 1 日あたり時間



項目	度数	構成比
1 時間～3 時間	4	0.6%
4 時間～6 時間	83	13.5%
7 時間～10 時間	498	80.8%
11 時間以上	25	4.1%
無回答	6	1.0%
回答者数	616	100.0%
非該当	227	—

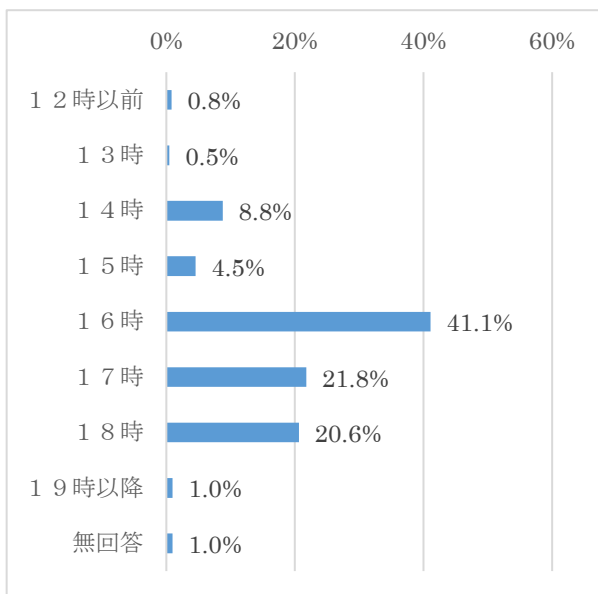
■利用時間帯

(登園時刻)



項目	度数	構成比
6時以前	1	0.2%
7時	44	7.1%
8時	273	44.3%
9時	281	45.6%
10時	11	1.8%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	0	0.0%
無回答	6	1.0%
回答者数	616	100.0%
非該当	227	—

(帰宅時刻)



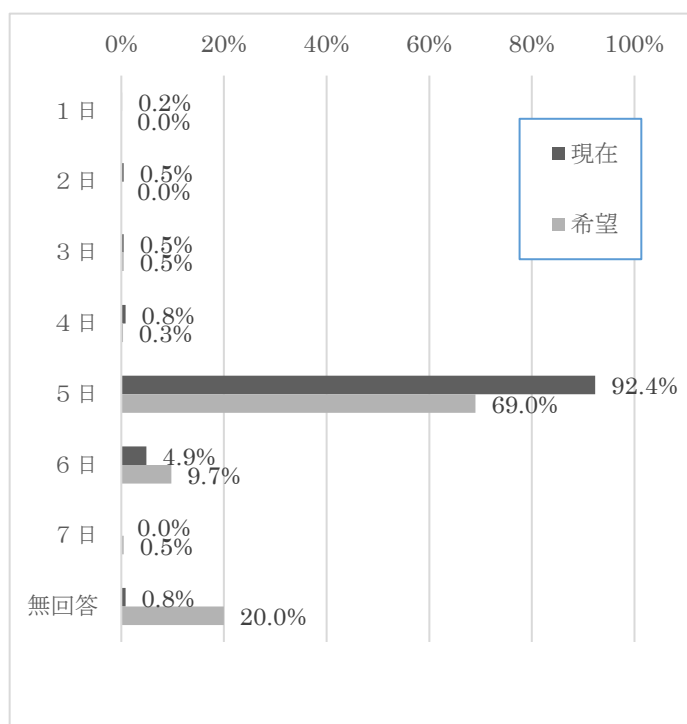
項目	度数	構成比
12時以前	5	0.8%
13時	3	0.5%
14時	54	8.8%
15時	28	4.5%
16時	253	41.1%
17時	134	21.8%
18時	127	20.6%
19時以降	6	1.0%
無回答	6	1.0%
回答者数	616	100.0%
非該当	227	—

(2) 希望

平日の教育・保育の事業の日数などの利用希望は、1週あたりの日数については、「5日」の割合が69.0%、1日あたりの時間については、「7時間～10時間」の割合が66.7%と、それぞれ最も高くなっています。

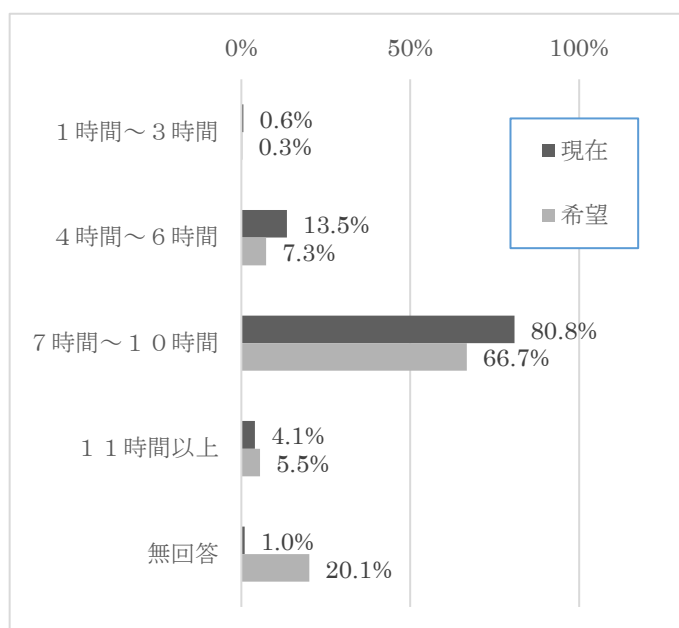
また、利用希望時間帯は、登園時刻については、「8時(35.7%)」「9時(35.6%)」、帰宅時刻については、「16時(27.8%)」「17時(21.4%)」「18時(18.8%)」の割合が比較的高くなっています。

■ 1週あたり日数



項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	3	0.5%
4日	2	0.3%
5日	425	69.0%
6日	60	9.7%
7日	3	0.5%
無回答	123	20.0%
回答者数	616	100.0%
非該当	227	—

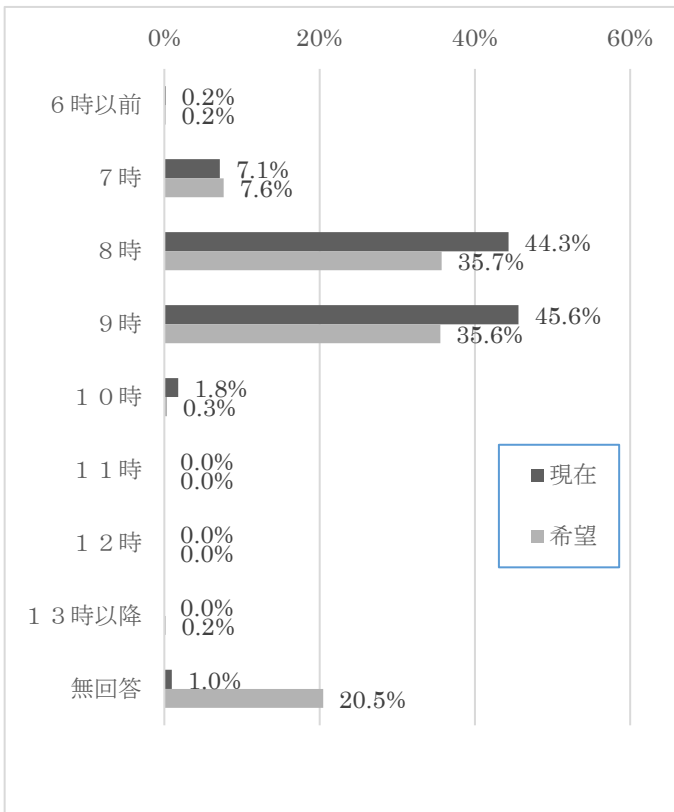
■ 1日あたり時間



項目	度数	構成比
1時間～3時間	2	0.3%
4時間～6時間	45	7.3%
7時間～10時間	411	66.7%
11時間以上	34	5.5%
無回答	124	20.1%
回答者数	616	100.0%
非該当	227	—

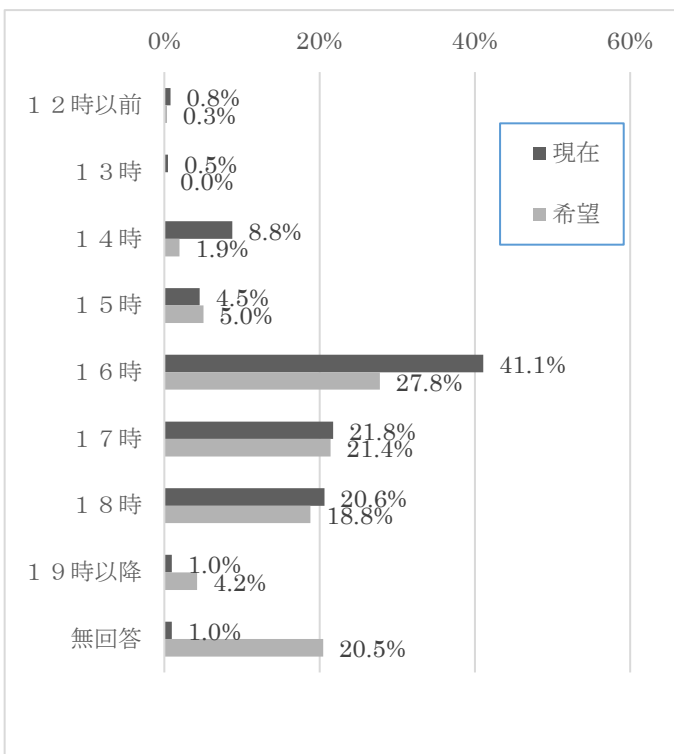
■利用時間帯

(登園時刻)



項目	度数	構成比
6時以前	1	0.2%
7時	47	7.6%
8時	220	35.7%
9時	219	35.6%
10時	2	0.3%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	1	0.2%
無回答	126	20.5%
回答者数	616	100.0%
非該当	227	—

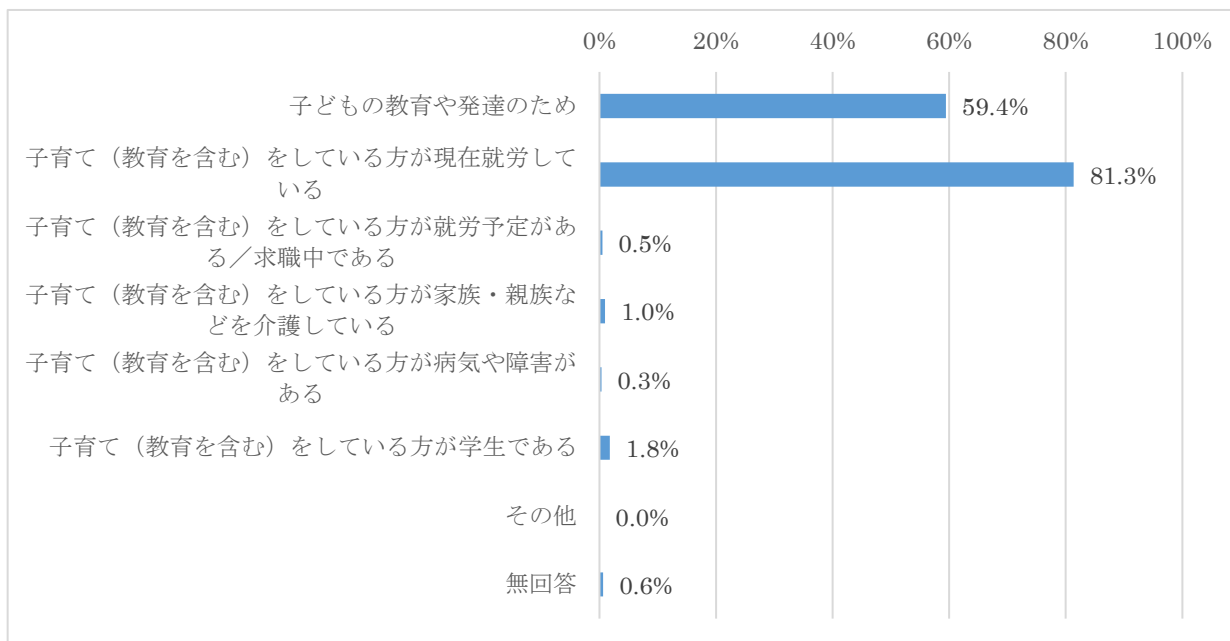
(帰宅時刻)



項目	度数	構成比
12時以前	2	0.3%
13時	0	0.0%
14時	12	1.9%
15時	31	5.0%
16時	171	27.8%
17時	132	21.4%
18時	116	18.8%
19時以降	26	4.2%
無回答	126	20.5%
回答者数	616	100.0%
非該当	227	—

問 21-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している（81.3%）」、「子どもの教育や発達のため（59.4%）」が高くなっています。

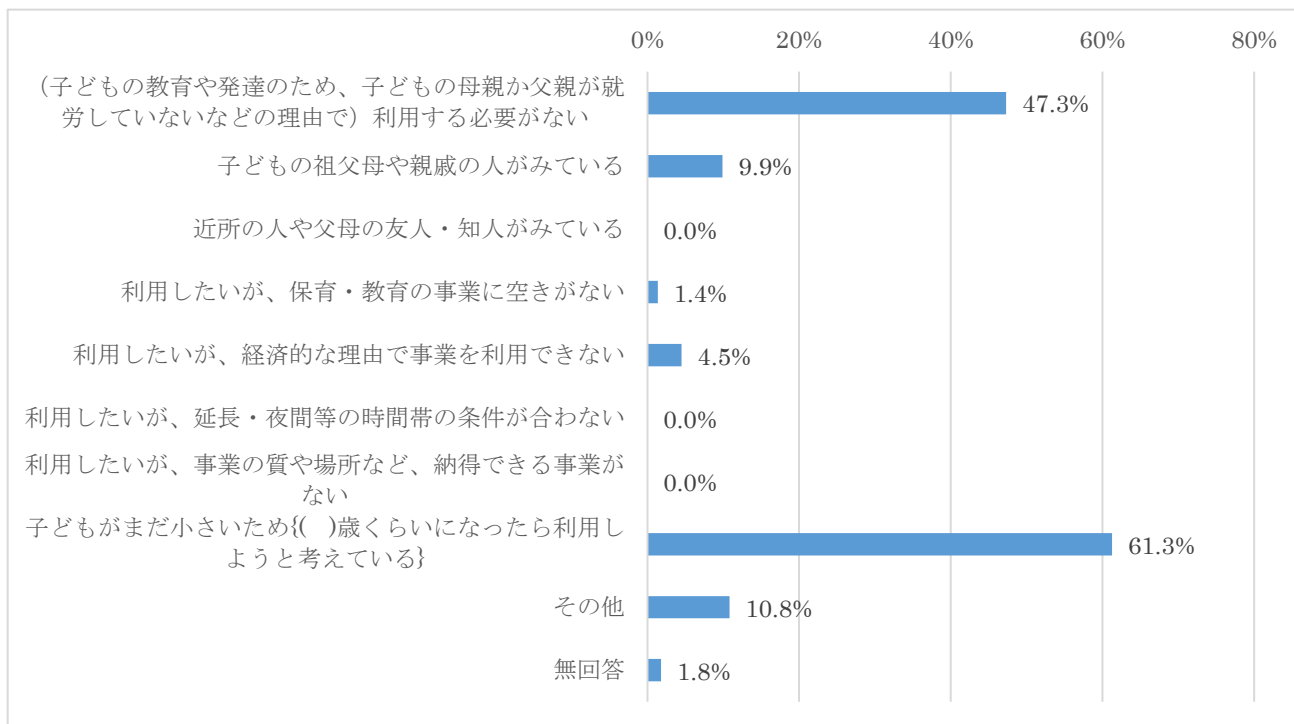


項目	度数	構成比
子どもの教育や発達のため	366	59.4%
子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している	501	81.3%
子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である	3	0.5%
子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している	6	1.0%
子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある	2	0.3%
子育て（教育を含む）をしている方が学生である	11	1.8%
その他	0	0.0%
無回答	4	0.6%
回答者数	616	—
非該当	227	—

問 21-5 問 21 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

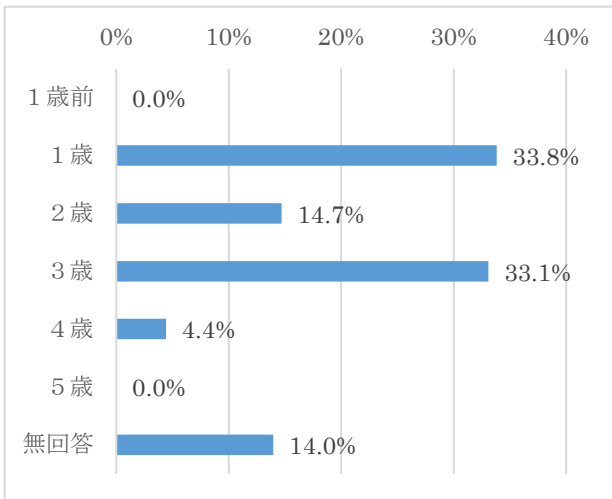
定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため{()歳くらいになったら利用しようと考えている}」の割合が 61.3%と最も高くなっています。また、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合も 47.3%と比較的高くなっています。

また、教育・保育事業の利用開始年齢は、「1歳」33.8%、「2歳」14.7%、「3歳」33.1%、「4歳」4.4%で、1歳と3歳の割合が高くなっています。



項目	度数	構成比
(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない	105	47.3%
子どもの祖父母や親戚の人がみている	22	9.9%
近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0%
利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	3	1.4%
利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	10	4.5%
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	0	0.0%
利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	0	0.0%
子どもがまだ小さいため{()歳くらいになったら利用しようと考えている}	136	61.3%
その他	24	10.8%
無回答	4	1.8%
回答者数	222	—
非該当	621	—

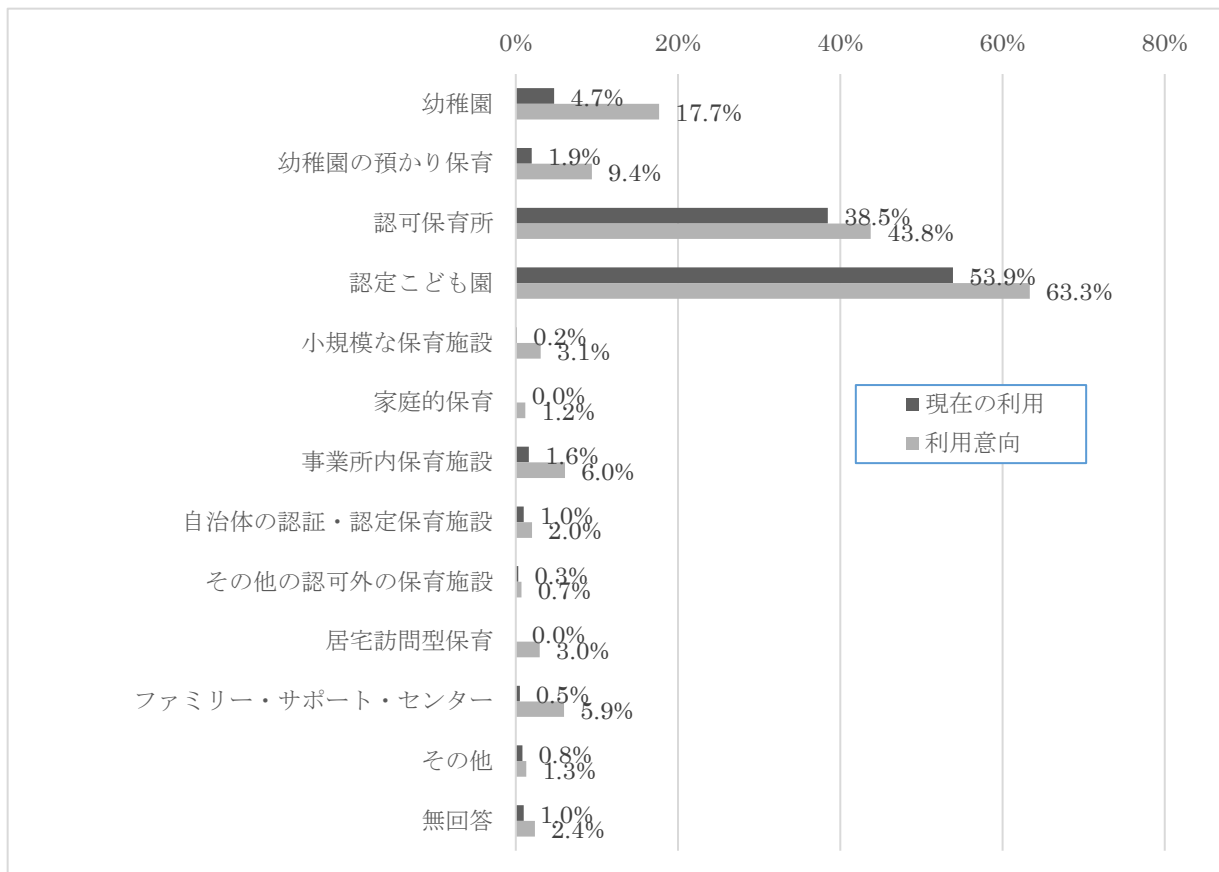
■教育・保育事業の利用開始年齢



項目	度数	構成比
1歳前	0	0.0%
1歳	46	33.8%
2歳	20	14.7%
3歳	45	33.1%
4歳	6	4.4%
5歳	0	0.0%
無回答	19	14.0%
回答者数	136	100.0%
非該当	707	—

問22 現在、利用している、利用していないにかかわらず、すべての方にかかわらず、すべての方にかかっています。宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

平日の教育・保育の事業の利用意向は、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が63.3%と最も高く、次いで「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」が43.8%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が17.7%、となっています。



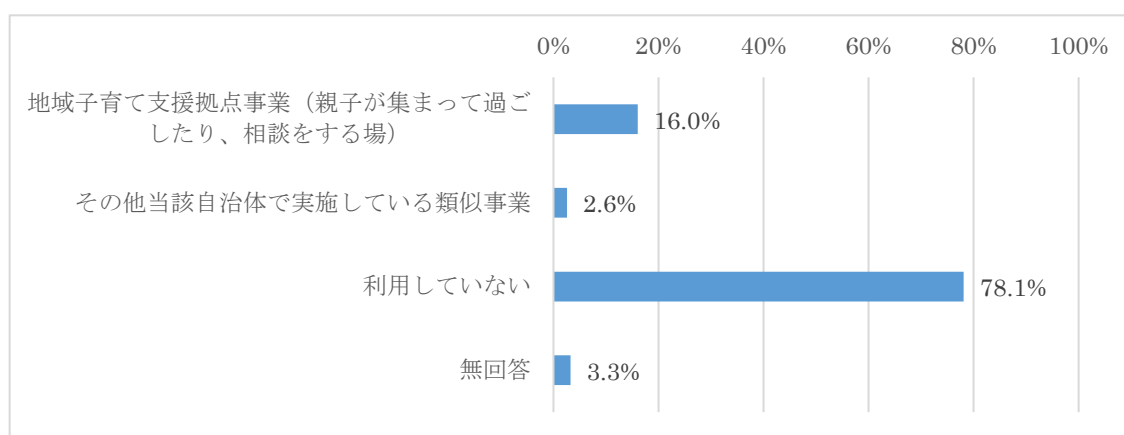
項目	度数	構成比
幼稚園（通常の就園時間の利用）	149	17.7%
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	79	9.4%
認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）	369	43.8%
認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	534	63.3%
小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）	26	3.1%
家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）	10	1.2%
事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	51	6.0%
自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	17	2.0%
その他の認可外の保育施設	6	0.7%
居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）	25	3.0%
ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	50	5.9%
その他	11	1.3%
無回答	20	2.4%
回答者数	843	—

6 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 23 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」を利用している割合が 16.0%に対し、「利用していない」が 78.1%となっています。

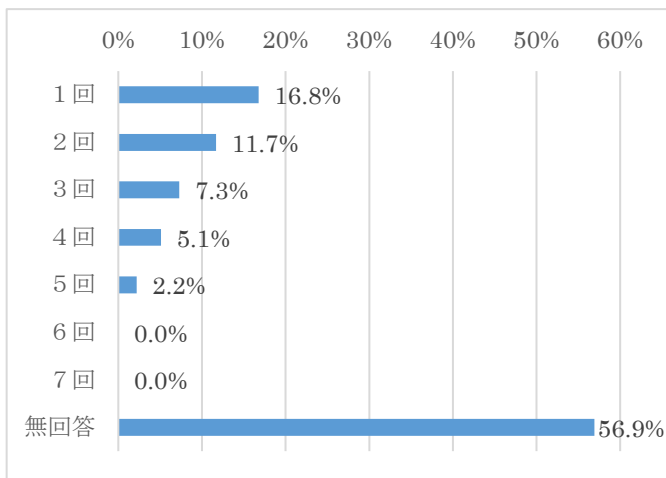
地域子育て支援拠点事業の利用回数は、1 週あたりでは「1 回～3 回」の割合が比較的高く、1 ヶ月あたりにおいても同様の傾向となっています。



項目	度数	構成比
地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）	137	16.0%
その他当該自治体で実施している類似事業	22	2.6%
利用していない	668	78.1%
無回答	28	3.3%
回答者数	855	—

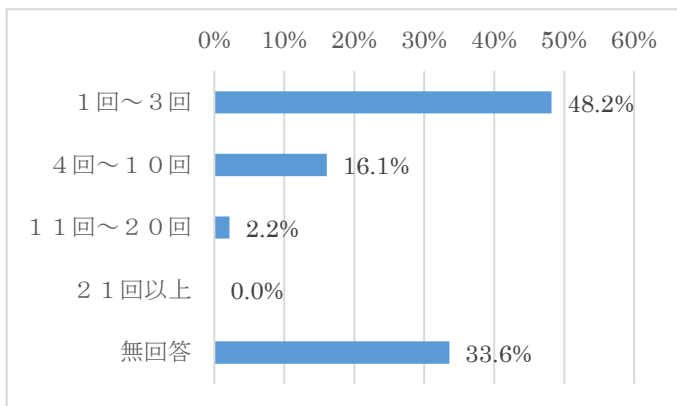
■地域子育て支援拠点事業の利用（1週あたり回数または1ヶ月あたり回数）

（1週あたり回数）



項目	度数	構成比
1回	23	16.8%
2回	16	11.7%
3回	10	7.3%
4回	7	5.1%
5回	3	2.2%
6回	0	0.0%
7回	0	0.0%
無回答	78	56.9%
回答者数	137	100.0%
非該当	706	—

（1ヶ月あたり回数）

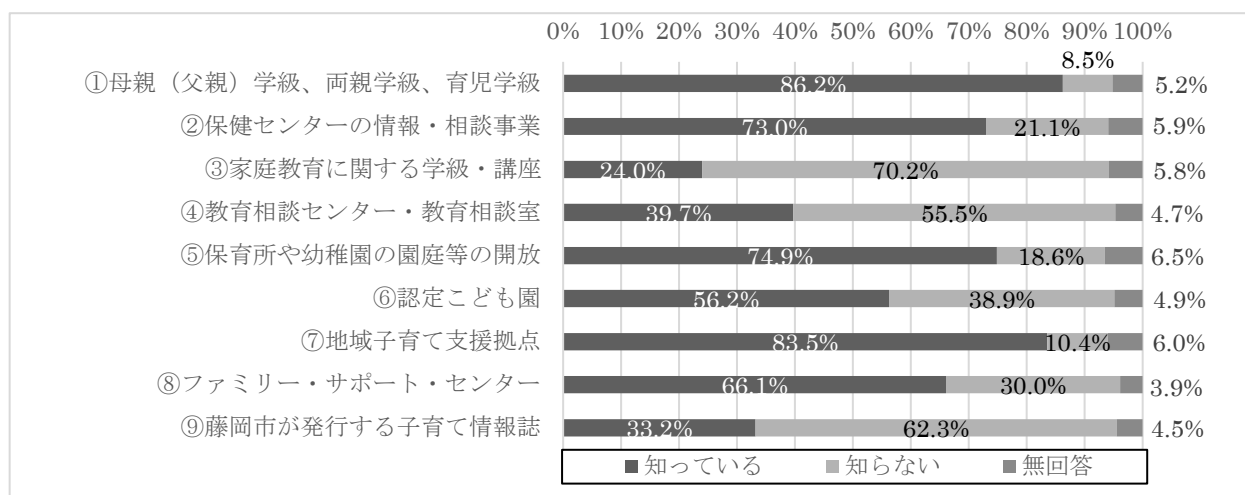


項目	度数	構成比
1回～3回	66	48.2%
4回～10回	22	16.1%
11回～20回	3	2.2%
21回以上	0	0.0%
無回答	46	33.6%
回答者数	137	100.0%
非該当	706	—

問 25 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

認知度は、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級 (86.2%)」「保健センターの情報・相談事業 (73.0%)」「保育所や幼稚園の園庭等の開放 (74.9%)」「地域子育て支援拠点 (83.5%)」の割合がいずれも7割を超え高くなっています。

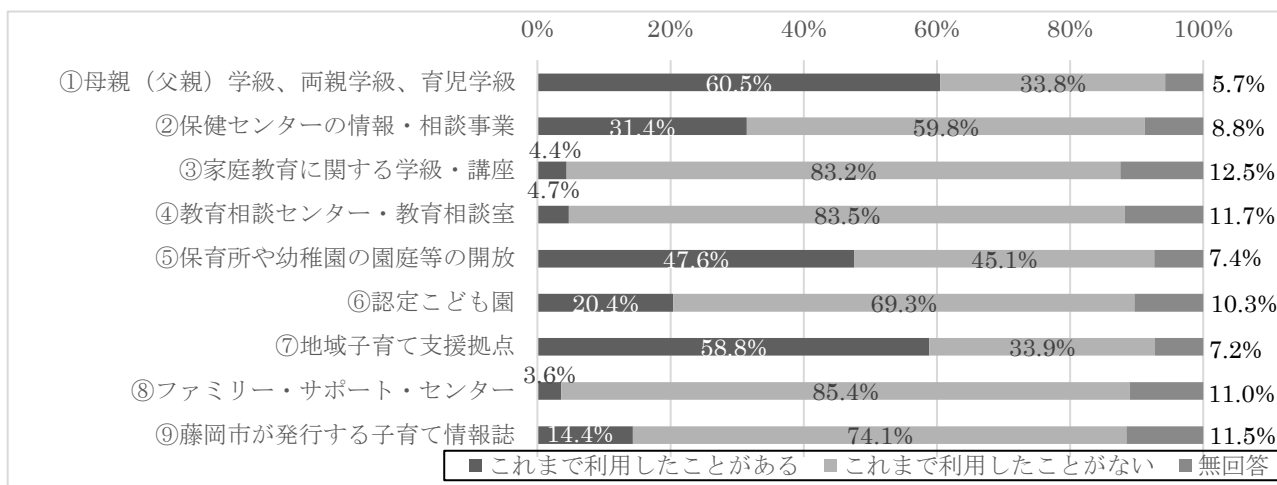
■認知度



項目	知っている	知らない	無回答	回答者数
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級	727	72	44	843
	86.2%	8.5%	5.2%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業	615	178	50	843
	73.0%	21.1%	5.9%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	202	592	49	843
	24.0%	70.2%	5.8%	100.0%
④教育相談センター・教育相談室	335	468	40	843
	39.7%	55.5%	4.7%	100.0%
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	631	157	55	843
	74.9%	18.6%	6.5%	100.0%
⑥認定こども園	474	328	41	843
	56.2%	38.9%	4.9%	100.0%
⑦地域子育て支援拠点	704	88	51	843
	83.5%	10.4%	6.0%	100.0%
⑧ファミリー・サポート・センター	557	253	33	843
	66.1%	30.0%	3.9%	100.0%
⑨藤岡市が発行する子育て情報誌	280	525	38	843
	33.2%	62.3%	4.5%	100.0%

利用度は、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級 (60.5%)」「保育所や幼稚園の園庭等の開放 (47.6%)」「地域子育て支援拠点 (58.8%)」の割合がいずれも 5 割前後と比較的高くなっています。

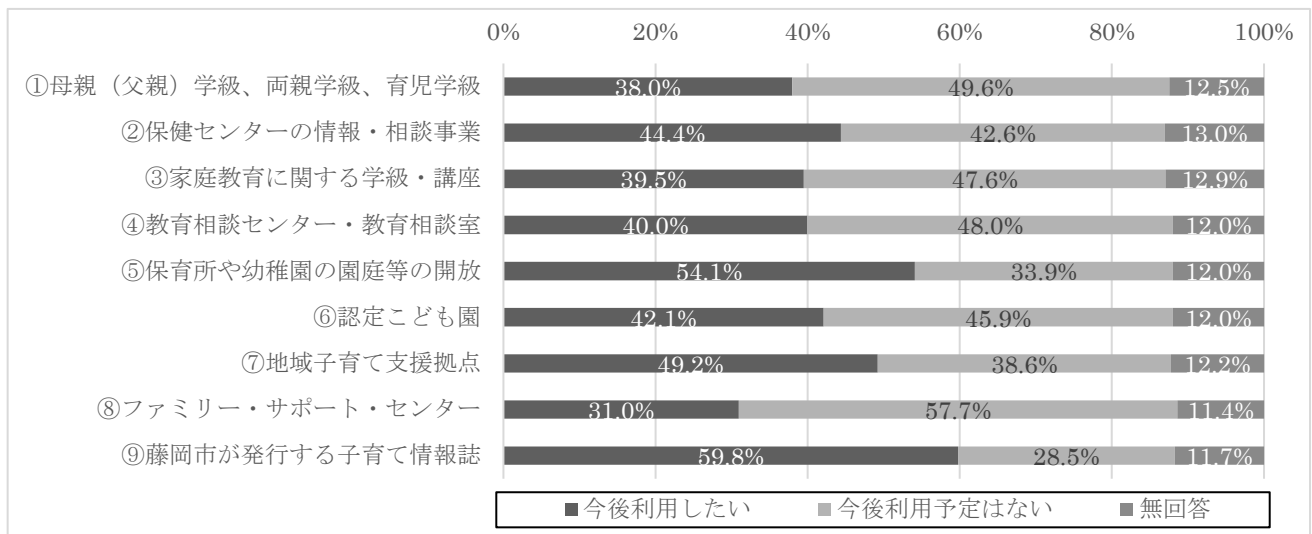
■利用度



項目	これまで利用したことがある	これまで利用したことがない	無回答	回答者数
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級	510	285	48	843
	60.5%	33.8%	5.7%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業	265	504	74	843
	31.4%	59.8%	8.8%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	37	701	105	843
	4.4%	83.2%	12.5%	100.0%
④教育相談センター・教育相談室	40	704	99	843
	4.7%	83.5%	11.7%	100.0%
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	401	380	62	843
	47.6%	45.1%	7.4%	100.0%
⑥認定こども園	172	584	87	843
	20.4%	69.3%	10.3%	100.0%
⑦地域子育て支援拠点	496	286	61	843
	58.8%	33.9%	7.2%	100.0%
⑧ファミリー・サポート・センター	30	720	93	843
	3.6%	85.4%	11.0%	100.0%
⑨藤岡市が発行する子育て情報誌	121	625	97	843
	14.4%	74.1%	11.5%	100.0%

利用意向は、「保健センターの情報・相談事業 (44.4%)」「保育所や幼稚園の園庭等の開放 (54.1%)」「地域子育て支援拠点 (49.2%)」の割合がいずれも 5 割前後と比較的高くなっています。また、「藤岡市が発行する子育て情報誌」は利用意向の割合が 59.8%と最も高くなっています。

■利用意向



項目	今後利用したい	今後利用予定はない	無回答	回答者数
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	320	418	105	843
	38.0%	49.6%	12.5%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業	374	359	110	843
	44.4%	42.6%	13.0%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	333	401	109	843
	39.5%	47.6%	12.9%	100.0%
④教育相談センター・教育相談室	337	405	101	843
	40.0%	48.0%	12.0%	100.0%
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	456	286	101	843
	54.1%	33.9%	12.0%	100.0%
⑥認定こども園	355	387	101	843
	42.1%	45.9%	12.0%	100.0%
⑦地域子育て支援拠点	415	325	103	843
	49.2%	38.6%	12.2%	100.0%
⑧ファミリー・サポート・センター	261	486	96	843
	31.0%	57.7%	11.4%	100.0%
⑨藤岡市が発行する子育て情報誌	504	240	99	843
	59.8%	28.5%	11.7%	100.0%

7 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 26 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

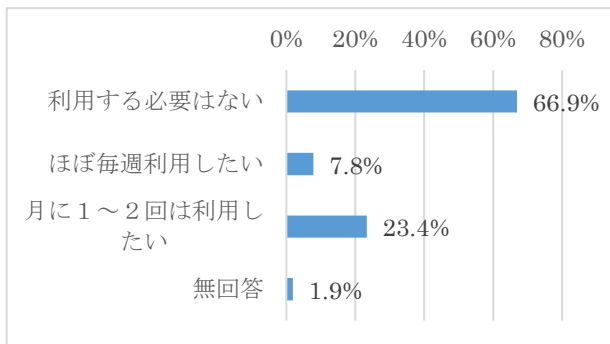
※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません

（1）土曜日

土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が66.9%に対し、「ほぼ毎週利用したい（7.8%）」と「月に1～2回は利用したい（23.4%）」の合計割合は31.2%となっています。

また、利用したい時間帯は、登園時刻については、「8時（44.9%）」「9時（33.5%）」、帰宅時刻については、「16時（20.9%）」「17時（22.4%）」「18時（28.9%）」の割合が比較的高くなっています。

さらに、1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」の割合が68.8%と最も高くなっています。



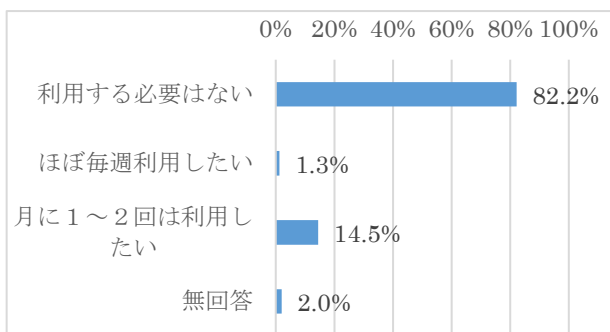
項目	度数	構成比
利用する必要はない	564	66.9%
ほぼ毎週利用したい	66	7.8%
月に1～2回は利用したい	197	23.4%
無回答	16	1.9%
回答者数	843	100.0%

（2）日曜・祝日

日曜・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が82.2%に対し、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」の合計割合は15.8%となっています。

また、利用したい時間帯は、登園時刻については、「8時（48.1%）」「9時（29.3%）」、帰宅時刻については、「16時～18時」の割合が比較的高くなっています。

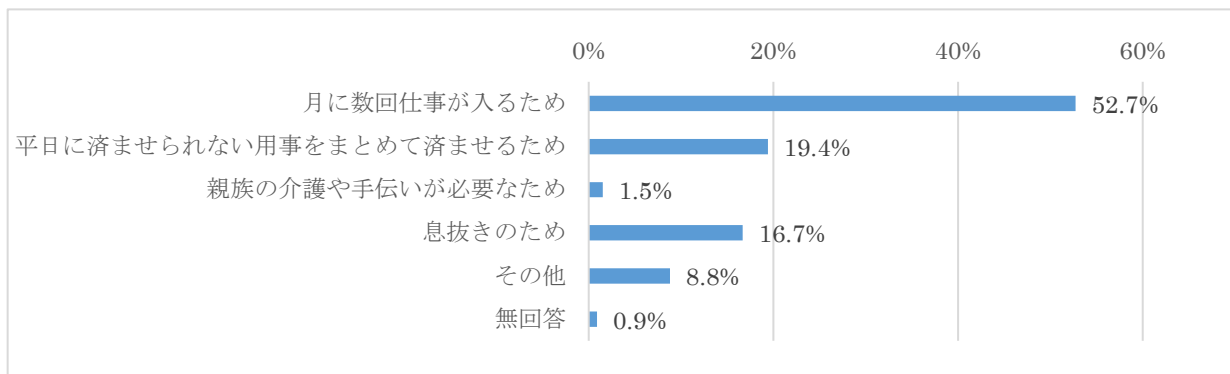
1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」の割合が66.2%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
利用する必要はない	693	82.2%
ほぼ毎週利用したい	11	1.3%
月に1～2回は利用したい	122	14.5%
無回答	17	2.0%
回答者数	843	100.0%

問 26-1 問 26 の（1）もしくは（2）で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

土曜日や日曜・祝日の教育・保育の事業を毎週ではなく、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」の割合が 52.7%と最も高く、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 19.4%と続いています。



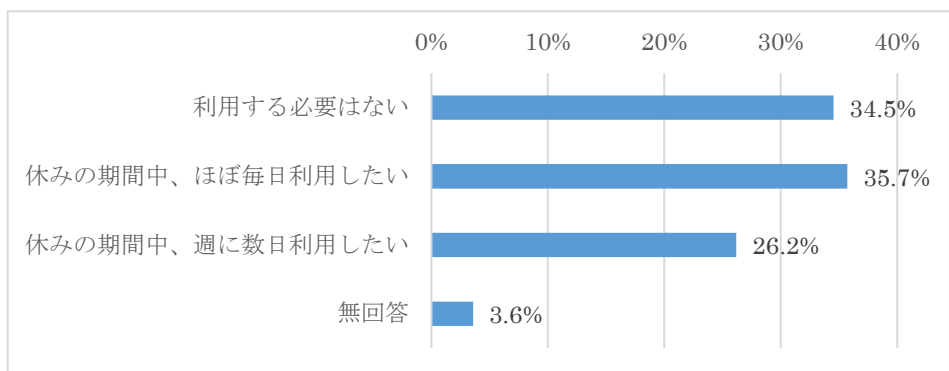
項目	度数	構成比
月に数回仕事が入るため	174	52.7%
平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	64	19.4%
親族の介護や手伝いが必要なため	5	1.5%
息抜きのため	55	16.7%
その他	29	8.8%
無回答	3	0.9%
回答者数	330	—
非該当	513	—

問 27 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時(例)のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

幼稚園利用者の夏休み・冬休みなどの長期の休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が34.5%に対し、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい(35.7%)」と「休みの期間中、週に数日利用したい(26.2%)」の合計割合は61.9%となっています。

また、利用したい時間帯は、登園時刻については、「8時(38.5%)」「9時(51.9%)」、帰宅時刻については、「15時～17時」で6割を超えています。

1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」の割合が61.5%と最も高くなっています。

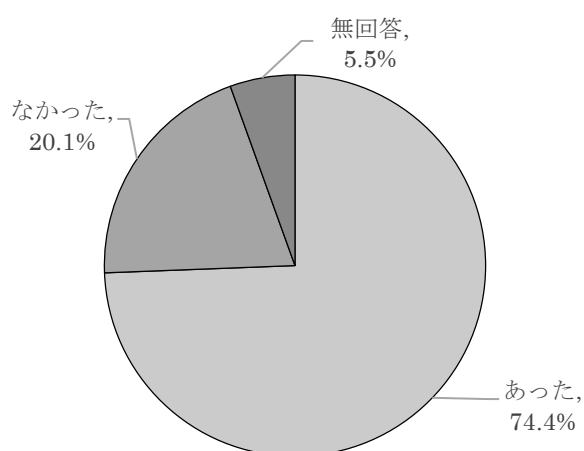


項目	度数	構成比
利用する必要はない	29	34.5%
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	30	35.7%
休みの期間中、週に数日利用したい	22	26.2%
無回答	3	3.6%
回答者数	84	100.0%
非該当	759	—

8 宛名のお子さんの病気の際の対応について (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 28 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方(問 21 で 1 に○をつけた方)にうかがいます。利用していない方は、問 29 にお進みください。この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

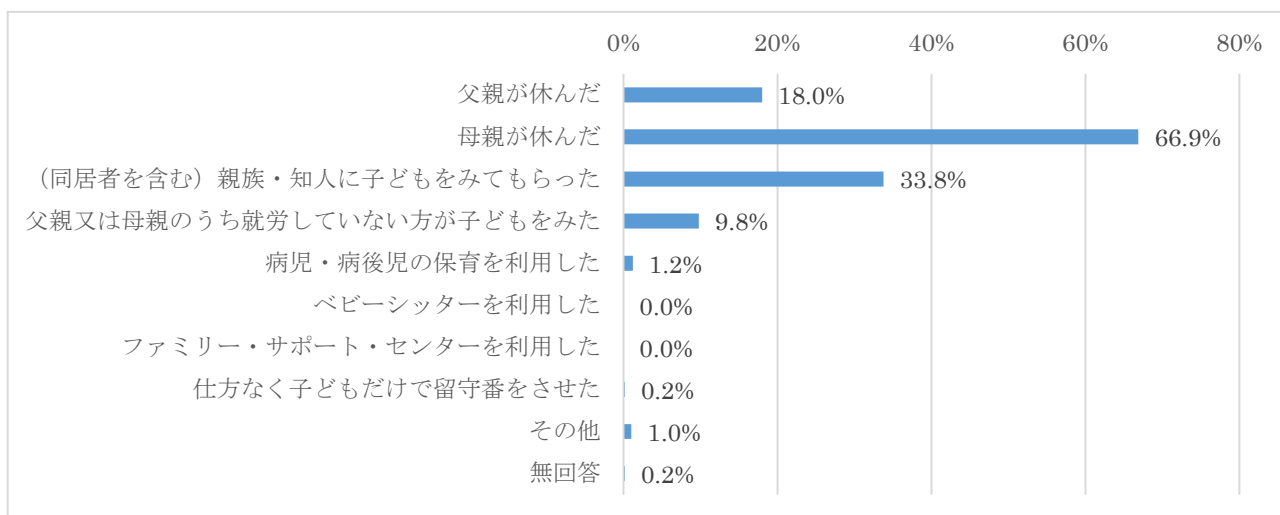
平日の定期的な教育・保育の事業の利用者のうち、子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験は、「あった」の割合が 74.4%に対し、「なかった」が 20.1%と、「あった」の割合が上回っています。



項目	度数	構成比
あった	459	74.4%
なかった	124	20.1%
無回答	34	5.5%
回答者数	617	100.0%
非該当	226	—

問 28-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字）。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、この1年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」の割合が66.9%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が33.8%、「父親が休んだ」が18.0%となっています。

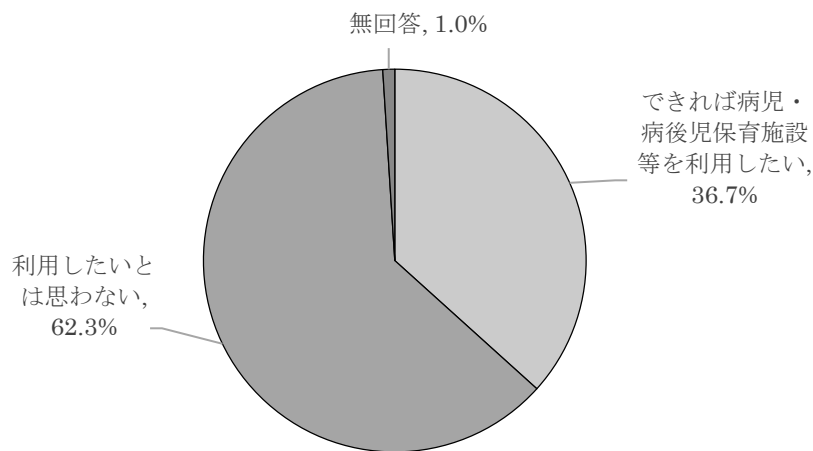


項目	度数	構成比
父親が休んだ	105	18.0%
母親が休んだ	390	66.9%
(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	197	33.8%
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	57	9.8%
病児・病後児の保育を利用した	7	1.2%
ベビーシッターを利用した	0	0.0%
ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0.0%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	0.2%
その他	6	1.0%
無回答	1	0.2%
回答者数	583	—
非該当	260	—

問 28-2 問 28-1 で「ア（父親が休んだ）」「イ（母親が休んだ）」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

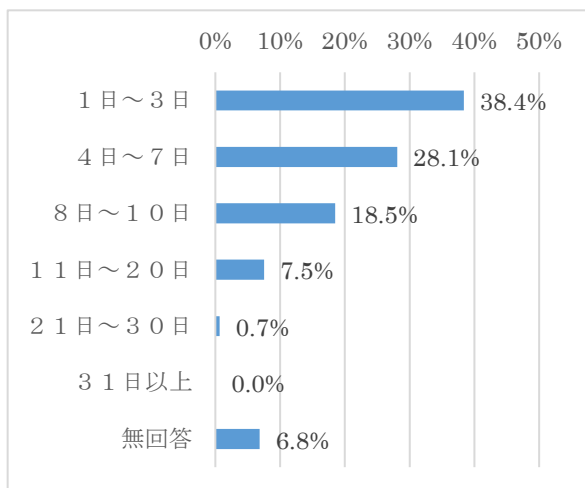
子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、病児・病後児保育施設の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 36.7%に対し、「利用したいとは思わない」が 62.3%となっています。

また、利用希望日数は、「1日～3日」の割合が 38.4%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	146	36.7%
利用したいとは思わない	248	62.3%
無回答	4	1.0%
回答者数	398	100.0%
非該当	445	—

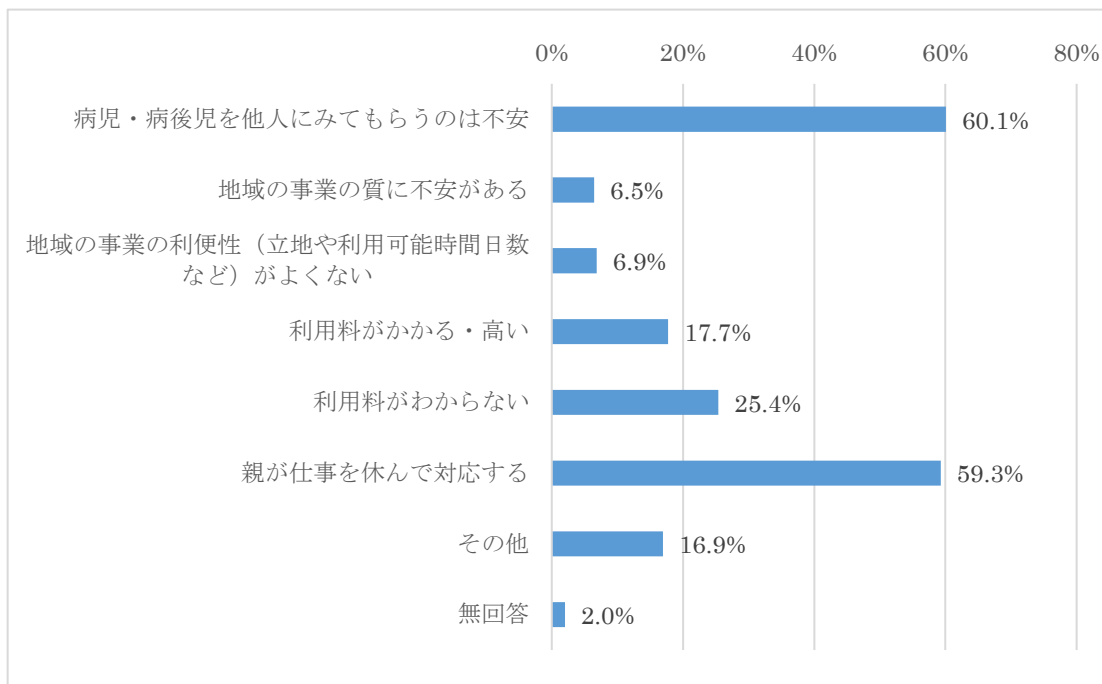
■利用希望日数



項目	度数	構成比
1日～3日	56	38.4%
4日～7日	41	28.1%
8日～10日	27	18.5%
10日～20日	11	7.5%
21日～30日	1	0.7%
31日以上	0	0.0%
無回答	10	6.8%
回答者数	146	100.0%
非該当	697	—

問 28-4 問 28-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由は、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が 60.1%と最も高く、「親が仕事を休んで対応する」の割合も 59.3%と同程度に高くなっています。

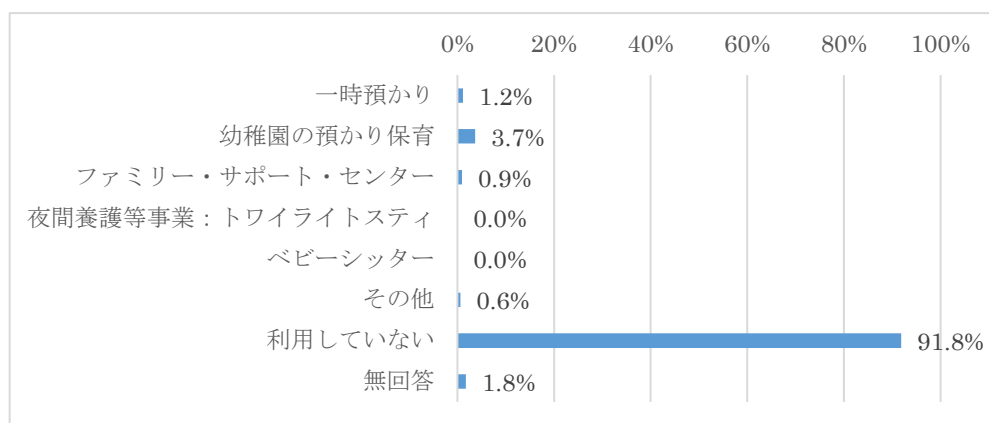


項目	度数	構成比
病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	149	60.1%
地域の事業の質に不安がある	16	6.5%
地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない	17	6.9%
利用料がかかる・高い	44	17.7%
利用料がわからない	63	25.4%
親が仕事を休んで対応する	147	59.3%
その他	42	16.9%
無回答	5	2.0%
回答者数	248	—
非該当	595	—

9 宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を 伴う一時預かり等の利用について (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 29 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している事業は、「一時預かり（1.2%）」「幼稚園の預かり保育（3.7%）」の割合がそれぞれ数パーセントとなっており、「利用していない」の割合が91.8%と高くなっています。

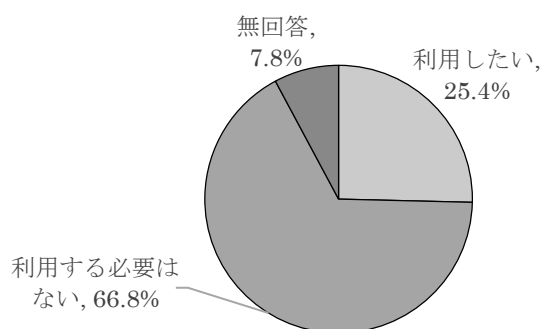


項目	度数	構成比
一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	10	1.2%
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不特定に利用する場合のみ）	31	3.7%
ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	8	0.9%
夜間養護等事業：トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間・子どもを保護する事業）	0	0.0%
ベビーシッター	0	0.0%
その他	5	0.6%
利用していない	776	91.8%
無回答	15	1.8%
回答者数	845	—

問 30 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

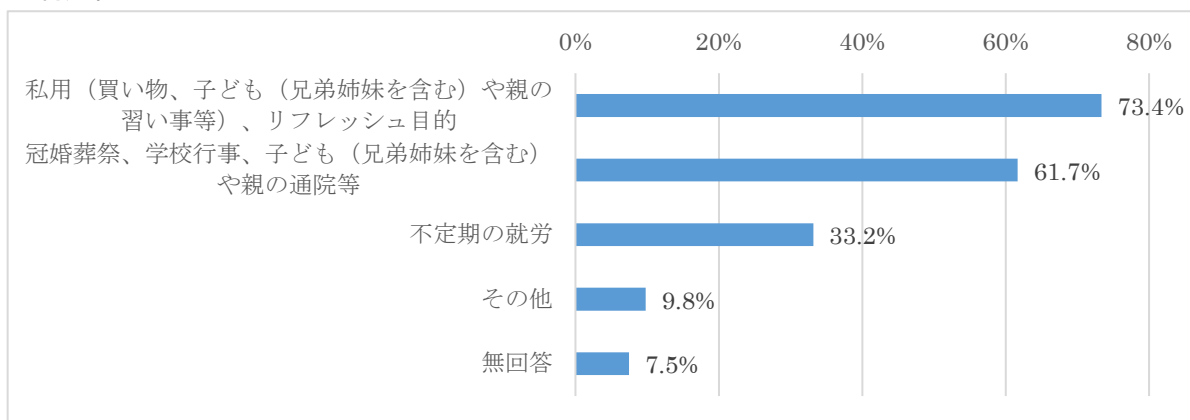
私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業の利用希望は、「利用したい」の割合が 25.4%に対し、「利用する必要はない」が 66.8%となっています。

また、利用目的別では、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的（73.4%）」「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等（61.7%）」の割合がいずれも5割を超え高く、年間利用日数の合計では、「4日～7日（15.0%）」「8日～10日（16.8%）」「11日～20日（22.0%）」が比較的高くなっています。



項目	度数	構成比
利用したい	214	25.4%
利用する必要はない	563	66.8%
無回答	66	7.8%
回答者数	843	100.0%

■利用目的

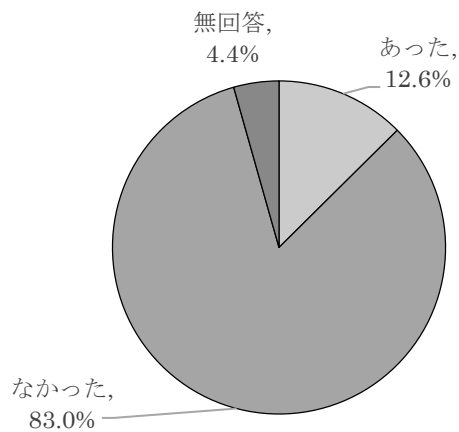


項目	度数	構成比
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	157	73.4%
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	132	61.7%
不定期の就労	71	33.2%
その他	21	9.8%
無回答	16	7.5%
回答者数	214	—
非該当	629	—

問 31 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一桁一字）。

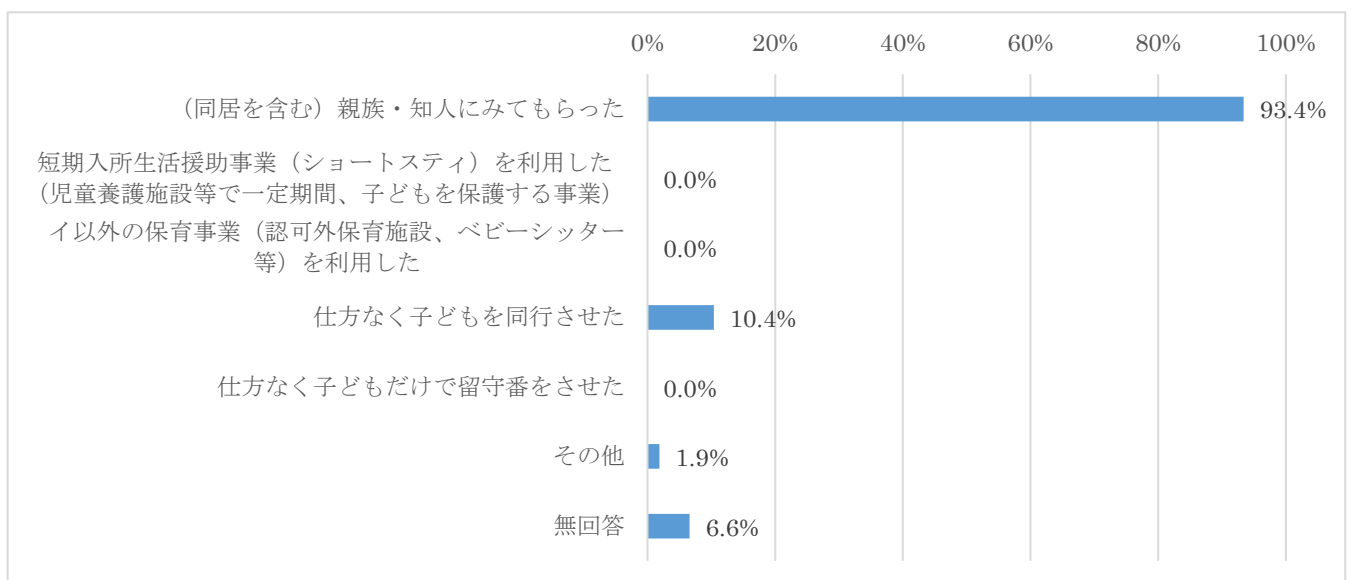
この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった経験は、「あった」の割合が12.6%に対し、「なかった」が83.0%となっています。

また、そのときの対処方法は、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が93.4%と最も高く、その年間対処日数は「1日～3日」の割合が56.6%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
あった	106	12.6%
なかった	700	83.0%
無回答	37	4.4%
回答者数	843	100.0%

■ 対処方法



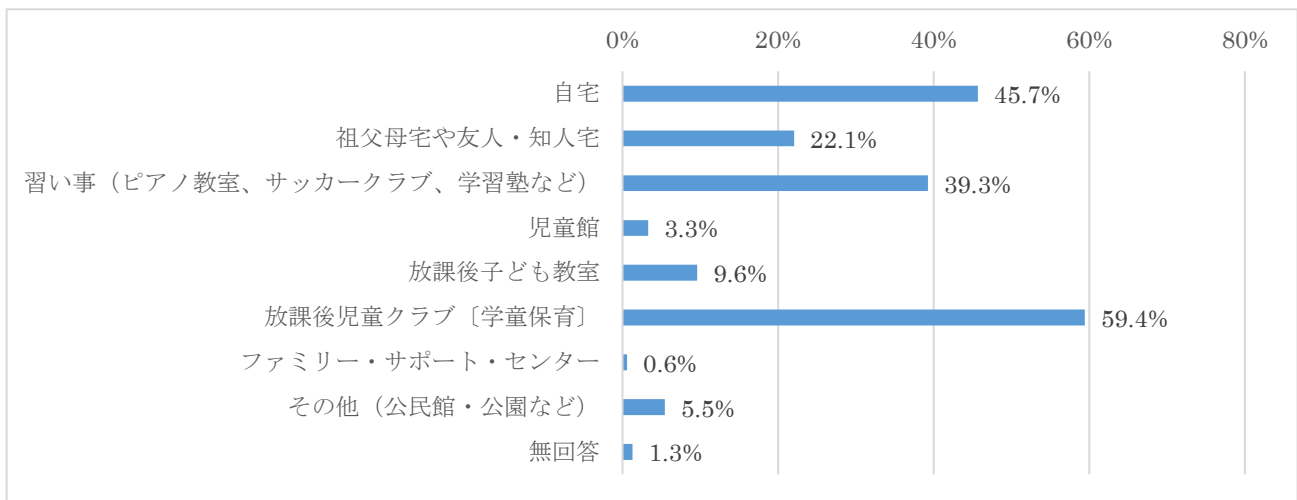
項目	度数	構成比
(同居を含む) 親族・知人にみてもらった	99	93.4%
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	0	0.0%
イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	0	0.0%
仕方なく子どもを同行させた	11	10.4%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	0.0%
その他	2	1.9%
無回答	7	6.6%
回答者数	106	—
非該当	737	—

※「短期入所生活援助事業」「短期入所生活援助事業以外の保育事業」「仕方なく子どもをだけで留守番をさせた」の回答はなし

10 宛名のお子さんが小学校に入学してからの放課後の過ごし方について

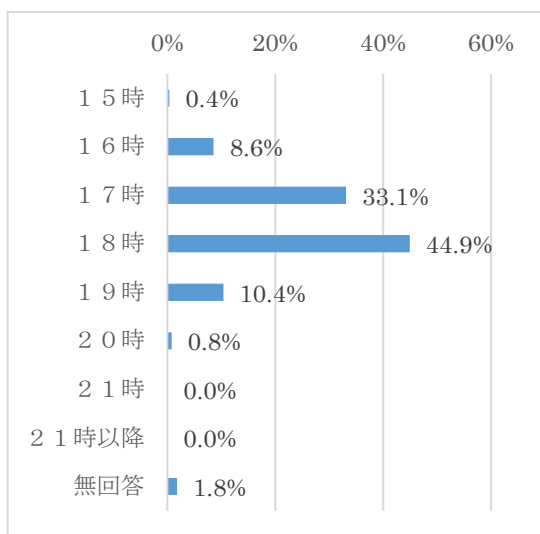
問 32 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

小学校低学年（1～3年生）のうちの希望する子どもの放課後の過ごし方は、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が59.4%と最も高く、次いで「自宅」も45.7%と高くなっています。また、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合も39.3%と比較的高くなっています。



項目	度数	構成比
自宅	385	45.7%
祖父母宅や友人・知人宅	186	22.1%
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	331	39.3%
児童館	28	3.3%
放課後子ども教室	81	9.6%
放課後児童クラブ〔学童保育〕	501	59.4%
ファミリー・サポート・センター	5	0.6%
その他（公民館・公園など）	46	5.5%
無回答	11	1.3%
回答者数	843	—

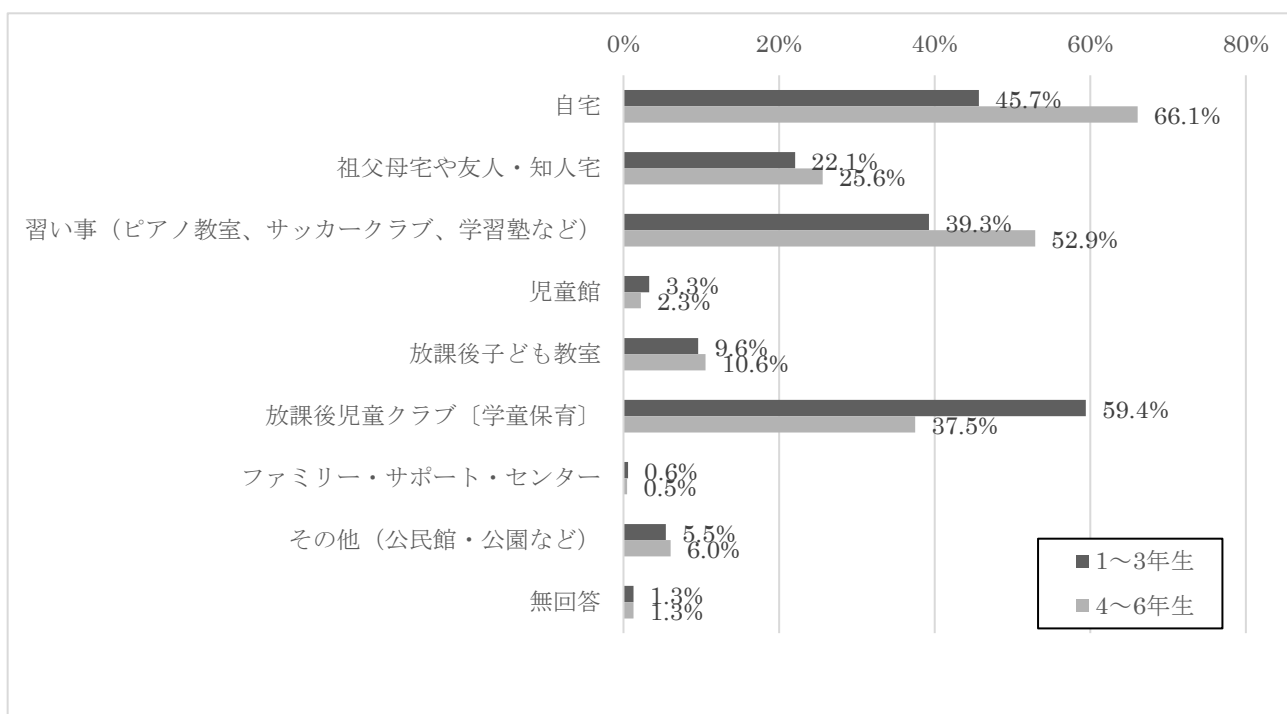
(放課後児童クラブの利用希望時間 退所時刻)



項目	度数	構成比
15時	2	0.4%
16時	43	8.6%
17時	166	33.1%
18時	225	44.9%
19時	52	10.4%
20時	4	0.8%
21時	0	0.0%
21時以降	0	0.0%
無回答	9	1.8%
回答者数	501	100.0%
非該当	342	—

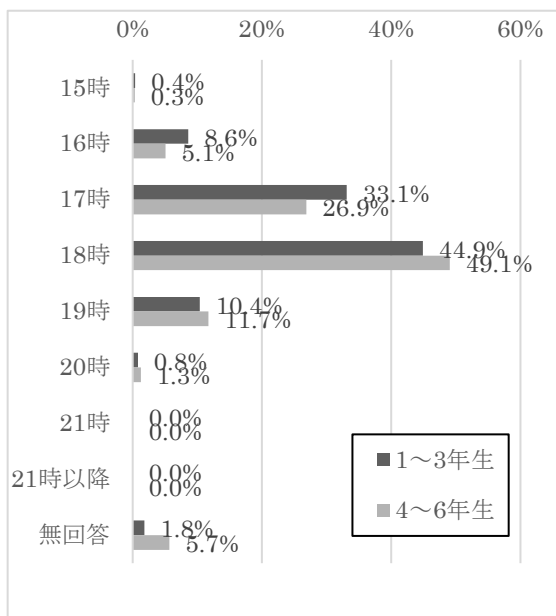
問 33 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）。

小学校高学年（4～6年生）になったら希望する子どもの放課後の過ごし方は、「自宅」の割合が66.1%と最も高く、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合も52.9%と高くなっています。また、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合は、1～3年生のときと比べ減少し、37.5%となっています。



項目	度数	構成比
自宅	557	66.1%
祖父母宅や友人・知人宅	216	25.6%
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	446	52.9%
児童館	19	2.3%
放課後子ども教室	89	10.6%
放課後児童クラブ〔学童保育〕	316	37.5%
ファミリー・サポート・センター	4	0.5%
その他（公民館・公園など）	51	6.0%
無回答	11	1.3%
回答者数	843	—

（放課後児童クラブの利用希望時間 退所時刻）



項目	度数	構成比
15時	1	0.3%
16時	16	5.1%
17時	85	26.9%
18時	155	49.1%
19時	37	11.7%
20時	4	1.3%
21時	0	0.0%
21時以降	0	0.0%
無回答	18	5.7%
回答者数	316	100.0%
非該当	527	—

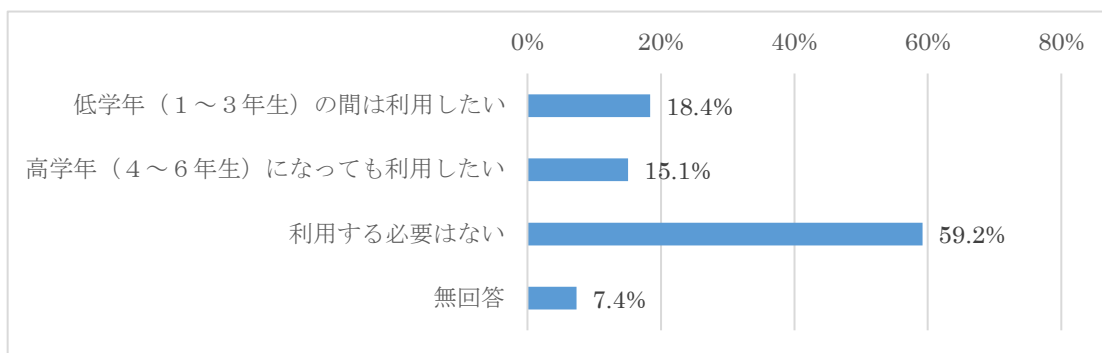
問 34 問 32 または問 33 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、土曜日の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が18.4%に対し、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が15.1%となっています。

また、「利用する必要はない」の割合は59.2%となっています。

さらに、希望する登所時刻については、「8時（48.6%）」「9時（30.1%）」、退所時刻については、「18時（41.0%）」が最も高く、続いて「17時（21.4%）」「16時（11.0%）」となっています。1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」の割合が66.5%と最も高くなっています。



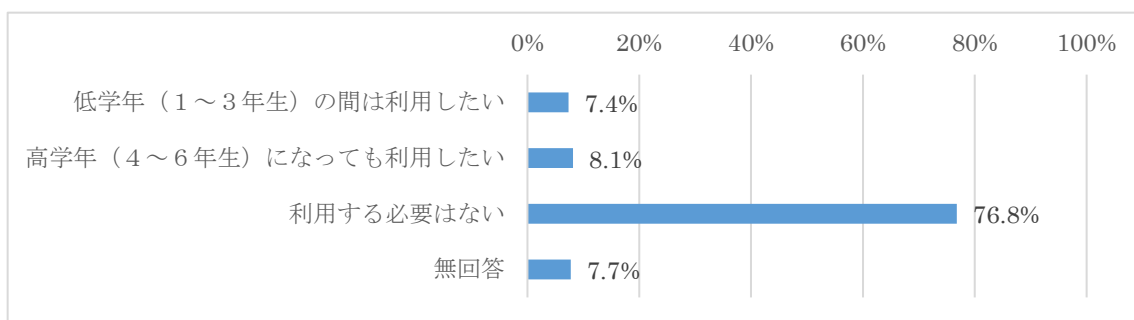
項目	度数	構成比
低学年（1～3年生）の間は利用したい	95	18.4%
高学年（4～6年生）になっても利用したい	78	15.1%
利用する必要はない	306	59.2%
無回答	38	7.4%
回答者数	517	100.0%
非該当	326	—

(2) 日曜・祝日

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、日曜・祝日の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が7.4%に対し、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が8.1%とともに低くなっています。

また、「利用する必要はない」の割合は76.8%となっています。

さらに、希望する登所時刻については、「8時（50.0%）」「9時（26.3%）」、退所時刻については、「18時（46.3%）」が最も高く、続いて「17時（15.0%）」「16時（11.3%）」となっています。1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」の割合が63.8%と最も高くなっています。



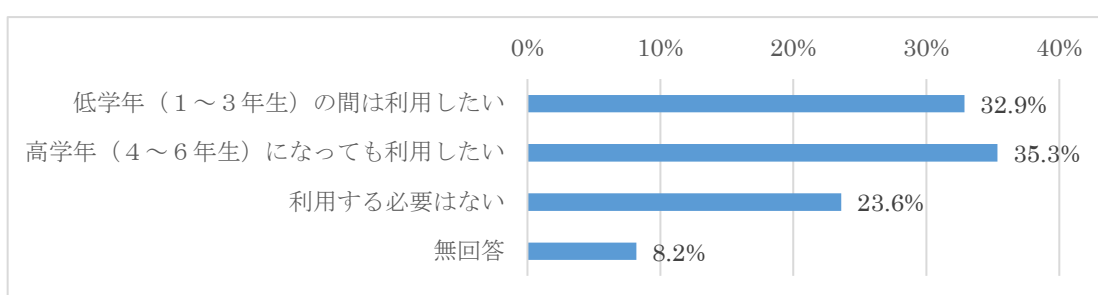
項目	度数	構成比
低学年（1～3年生）の間は利用したい	38	7.4%
高学年（4～6年生）になっても利用したい	42	8.1%
利用する必要はない	397	76.8%
無回答	40	7.7%
回答者数	517	100.0%
非該当	326	—

問 35 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号 1 つに〇 をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）。

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が32.9%に対し、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が35.3%となっています。

また、「利用する必要はない」の割合は23.6%となっています。

さらに、希望する登所時刻については、「8時（52.3%）」「9時（34.3%）」、退所時刻については、「18時（36.9%）」が最も高く、続いて「17時（28.0%）」「16時（18.3%）」となっています。1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」の割合が79.3%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
低学年（1～3年生）の間は利用したい	277	32.9%
高学年（4～6年生）になっても利用したい	298	35.3%
利用する必要はない	199	23.6%
無回答	69	8.2%
回答者数	843	100.0%

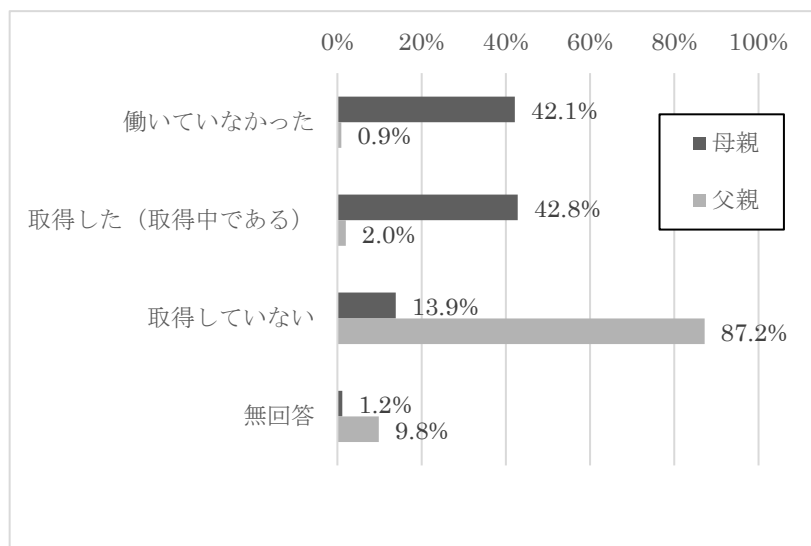
11 すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度について

問 36 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由の番号をすべてご記入ください。

子どもが生まれたときの育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」の割合は、「母親」が42.8%に対し、「父親」は2.0%と、父親の取得割合が低くなっています。

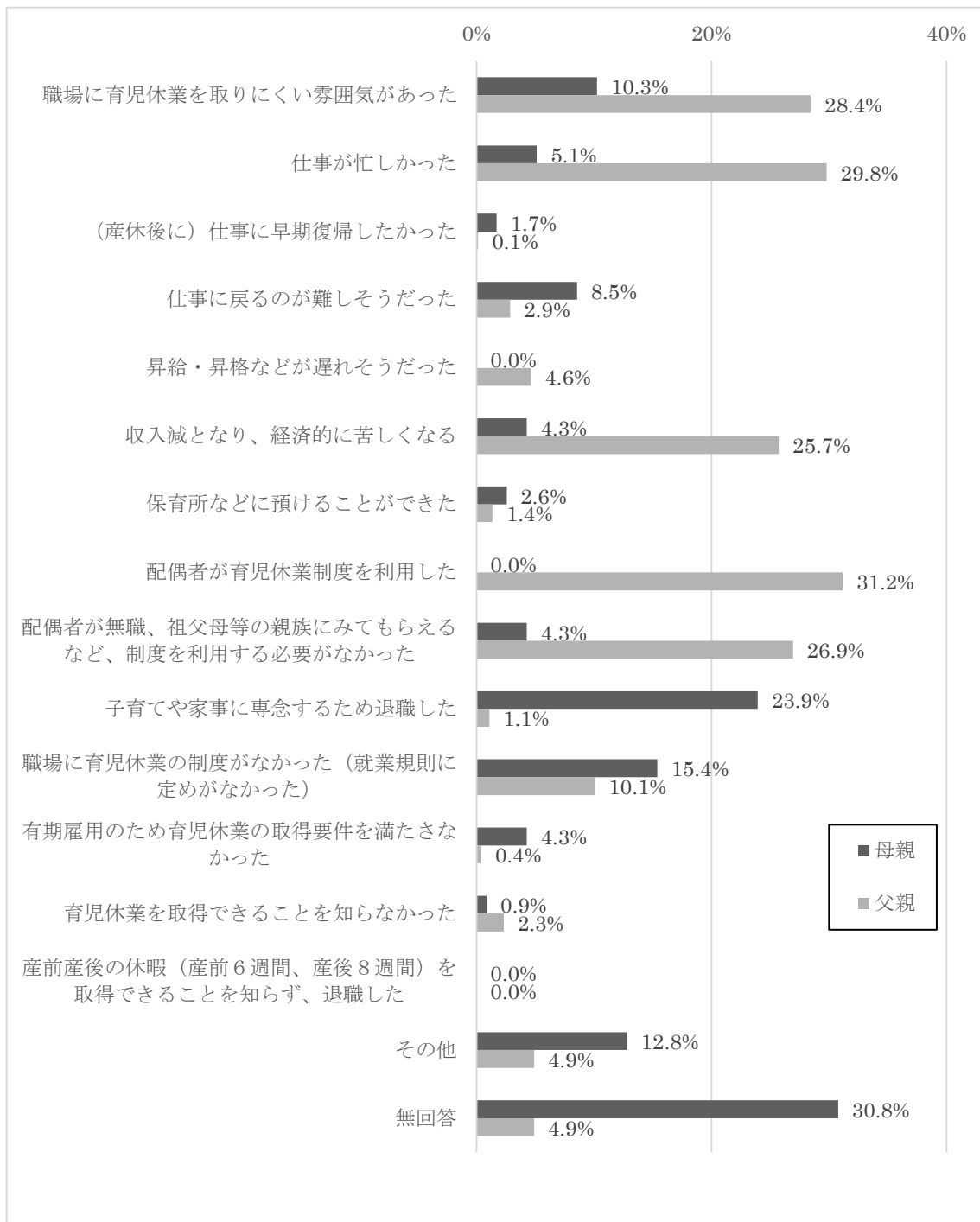
また、「働いていなかった」の割合は、「母親」が42.1%に対し、「父親」が0.9%となっています。

さらに、育児休業を取得していない理由は、「母親」では、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が23.9%と高く、「父親」では、「配偶者が育児休業制度を利用した（31.2%）」「仕事が忙しかった（29.8%）」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった（28.4%）」の割合がそれぞれ3割前後と比較的高くなっています。



項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
働いていなかった	355	42.1%	8	0.9%
取得した（取得中である）	361	42.8%	17	2.0%
取得していない	117	13.9%	735	87.2%
無回答	10	1.2%	83	9.8%
回答者数	843	100.0%	843	100.0%

■育児休業を取得していない理由

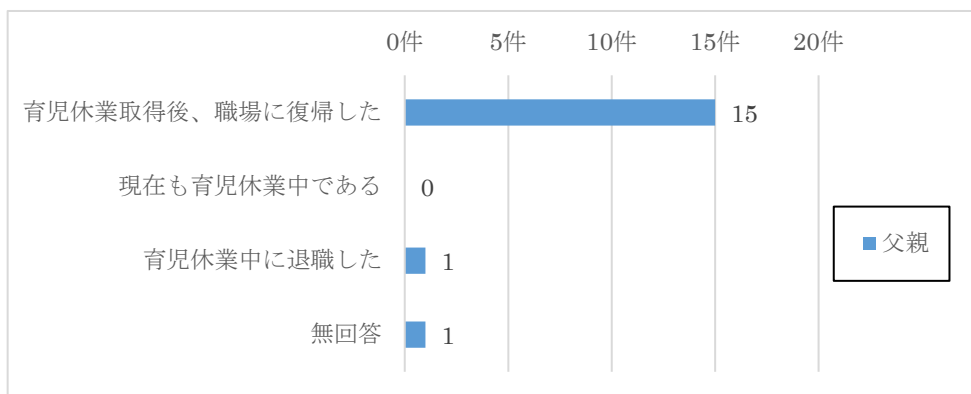
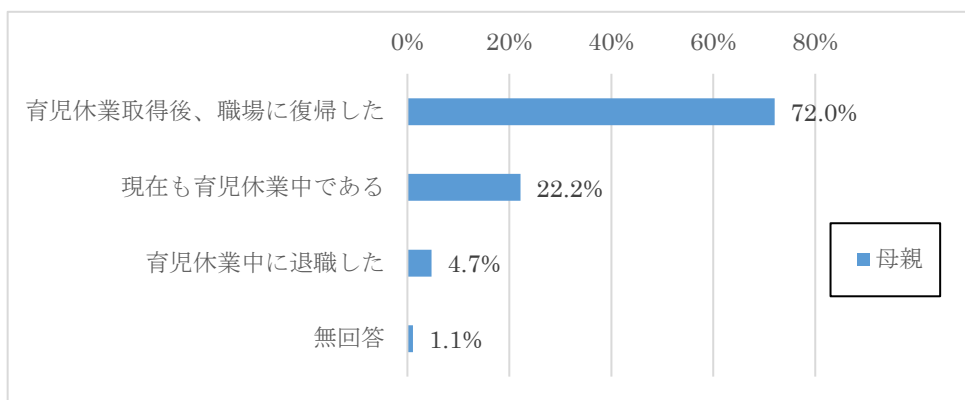


項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	12	10.3%	209	28.4%
仕事が忙しかった	6	5.1%	219	29.8%
(産休後に) 仕事に早期復帰したかった	2	1.7%	1	0.1%
仕事に戻るのが難しそうだった	10	8.5%	21	2.9%
昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0%	34	4.6%
収入減となり、経済的に苦しくなる	5	4.3%	189	25.7%
保育所などに預けることができた	3	2.6%	10	1.4%
配偶者が育児休業制度を利用した	0	0.0%	229	31.2%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	5	4.3%	198	26.9%
子育てや家事に専念するため退職した	28	23.9%	8	1.1%
職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	18	15.4%	74	10.1%
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	5	4.3%	3	0.4%
育児休業を取得できることを知らなかった	1	0.9%	17	2.3%
産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	0	0.0%	0	0.0%
その他	15	12.8%	36	4.9%
無回答	36	30.8%	36	4.9%
回答者数	117	—	735	—
非該当	726	—	108	—

問 36-2 問 36 で (1) または (2) で「2. 取得した (取得中である)」に○をつけた方にかがいます。
 該当しない方は、問 37 にお進みください。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1
 つに○をつけてください。

(1) 母親 (2) 父親

育児休業取得後の職場への復帰状況は、「母親」「父親」ともに、「育児休業取得後、職場に復帰した (母
 親 : 72.0%、父親 : 15 件)」の回答が多くなっています。

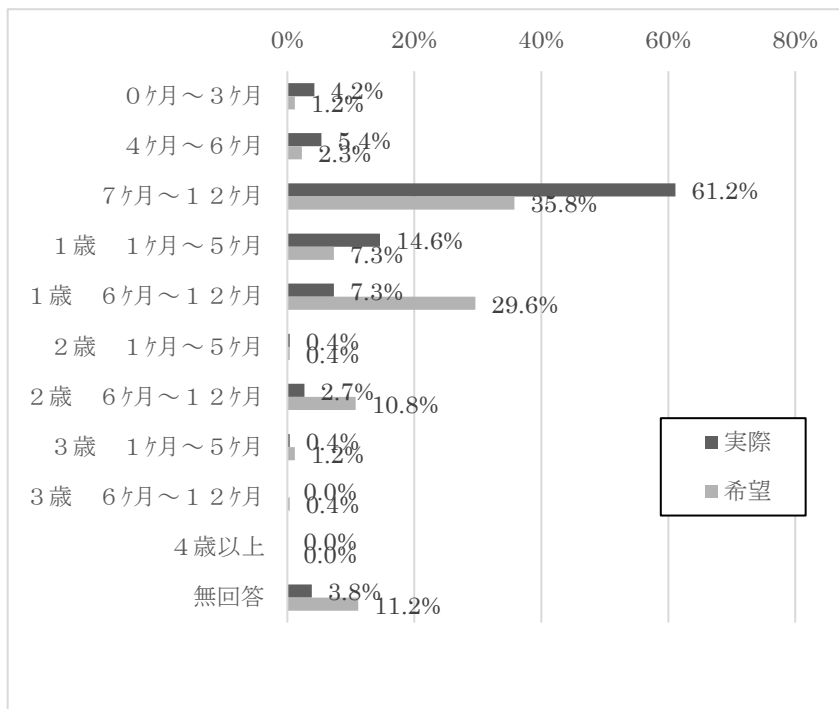


項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
育児休業取得後、職場に復帰した	260	72.0%	15	88.2%
現在も育児休業中である	80	22.2%	0	0.0%
育児休業中に退職した	17	4.7%	1	5.9%
無回答	4	1.1%	1	5.9%
回答者数	361	100.0%	17	100.0%
非該当	482	—	826	—

問 36-4 問 36-2 で (1) または (2) で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

育児休業からの職場復帰時期（子どもの年齢）は、「実際」では「7ヶ月～12ヶ月」の割合が61.2%、「希望」でも「7ヶ月～12ヶ月」の割合が35.8%と、それぞれ最も高くなっています。



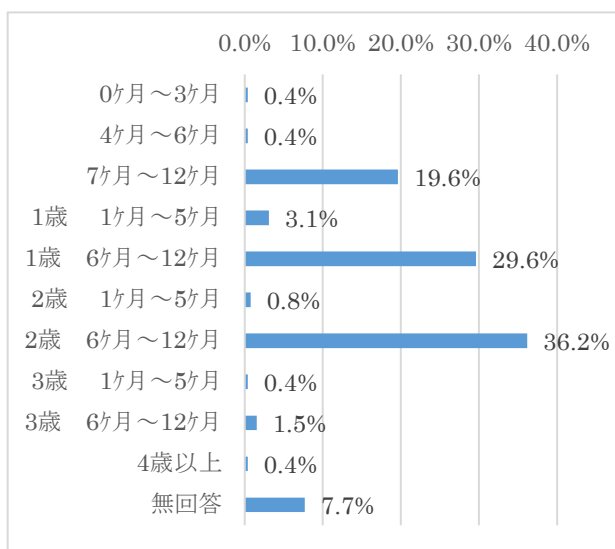
子どもの年齢	実際		希望	
	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月～3ヶ月	11	4.2%	3	1.2%
4ヶ月～6ヶ月	14	5.4%	6	2.3%
7ヶ月～12ヶ月	159	61.2%	93	35.8%
1歳 1ヶ月～5ヶ月	38	14.6%	19	7.3%
1歳 6ヶ月～12ヶ月	19	7.3%	77	29.6%
2歳 1ヶ月～5ヶ月	1	0.4%	1	0.4%
2歳 6ヶ月～12ヶ月	7	2.7%	28	10.8%
3歳 1ヶ月～5ヶ月	1	0.4%	3	1.2%
3歳 6ヶ月～12ヶ月	0	0.0%	1	0.4%
4歳以上	0	0.0%	0	0.0%
無回答	10	3.8%	29	11.2%
回答者数	260	100.0%	260	100.0%
非該当	583	—	583	—

問 36-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

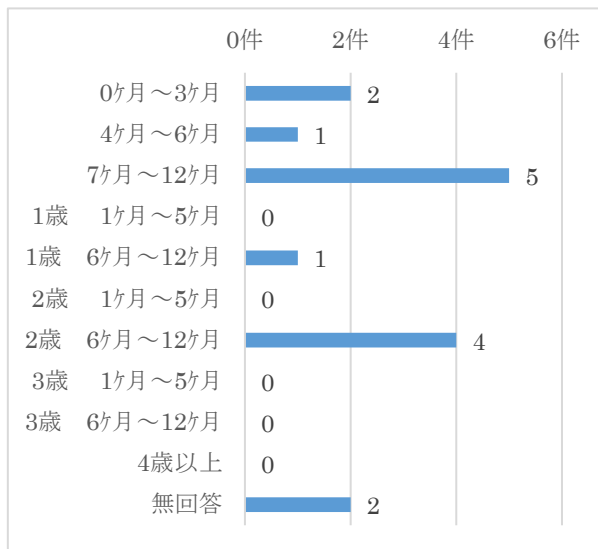
(1) 母親 (2) 父親

育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の職場復帰の希望時期（子どもの年齢）は、「母親」では「2歳6ヶ月～12ヶ月」の割合が36.2%と最も高くなっています。「父親」では、低月齢の回答が多くなっています。

■母親



■父親

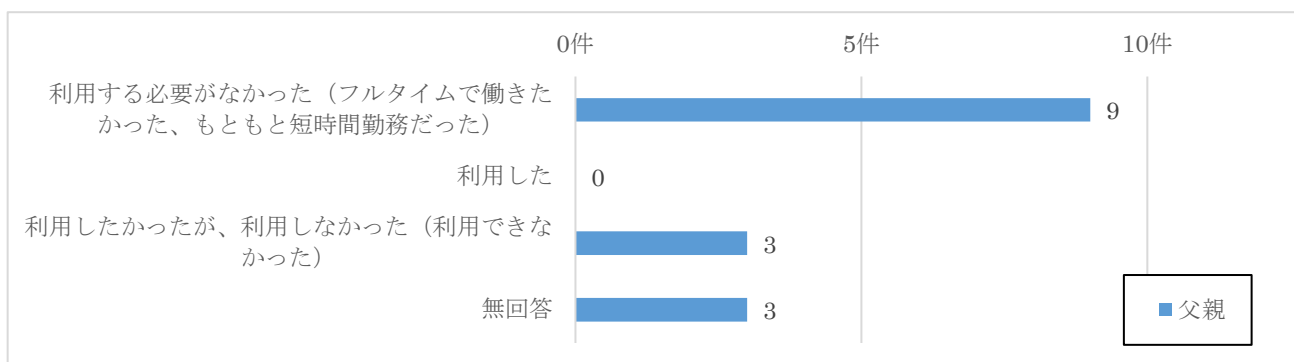
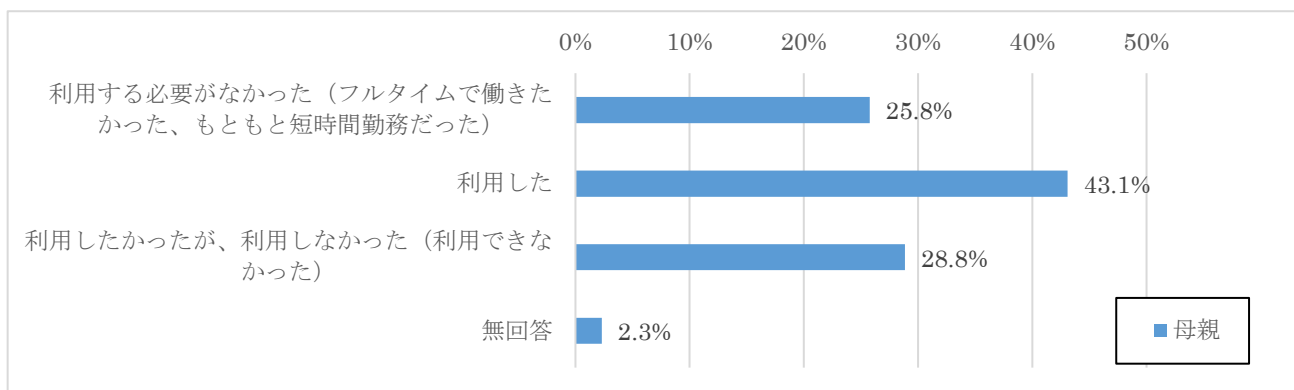


年齢	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月～3ヶ月	1	0.4%	2	13.3%
4ヶ月～6ヶ月	1	0.4%	1	6.7%
7ヶ月～12ヶ月	51	19.6%	5	33.3%
1歳 1ヶ月～5ヶ月	8	3.1%	0	0.0%
1歳 6ヶ月～12ヶ月	77	29.6%	1	6.7%
2歳 1ヶ月～5ヶ月	2	0.8%	0	0.0%
2歳 6ヶ月～12ヶ月	94	36.2%	4	26.7%
3歳 1ヶ月～5ヶ月	1	0.4%	0	0.0%
3歳 6ヶ月～12ヶ月	4	1.5%	0	0.0%
4歳以上	1	0.4%	0	0.0%
無回答	20	7.7%	2	13.3%
回答者数	260	100.0%	15	100.0%
非該当	583	—	828	—

問 36-7 問 36-2 で (1) または (2) で「1. 休業後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親 (2) 父親

育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況は、母親では、「利用した」の割合が 43.1%で、「利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」は 28.8%で、「利用した」が「利用しなかった (利用できなかった)」を上回っています。



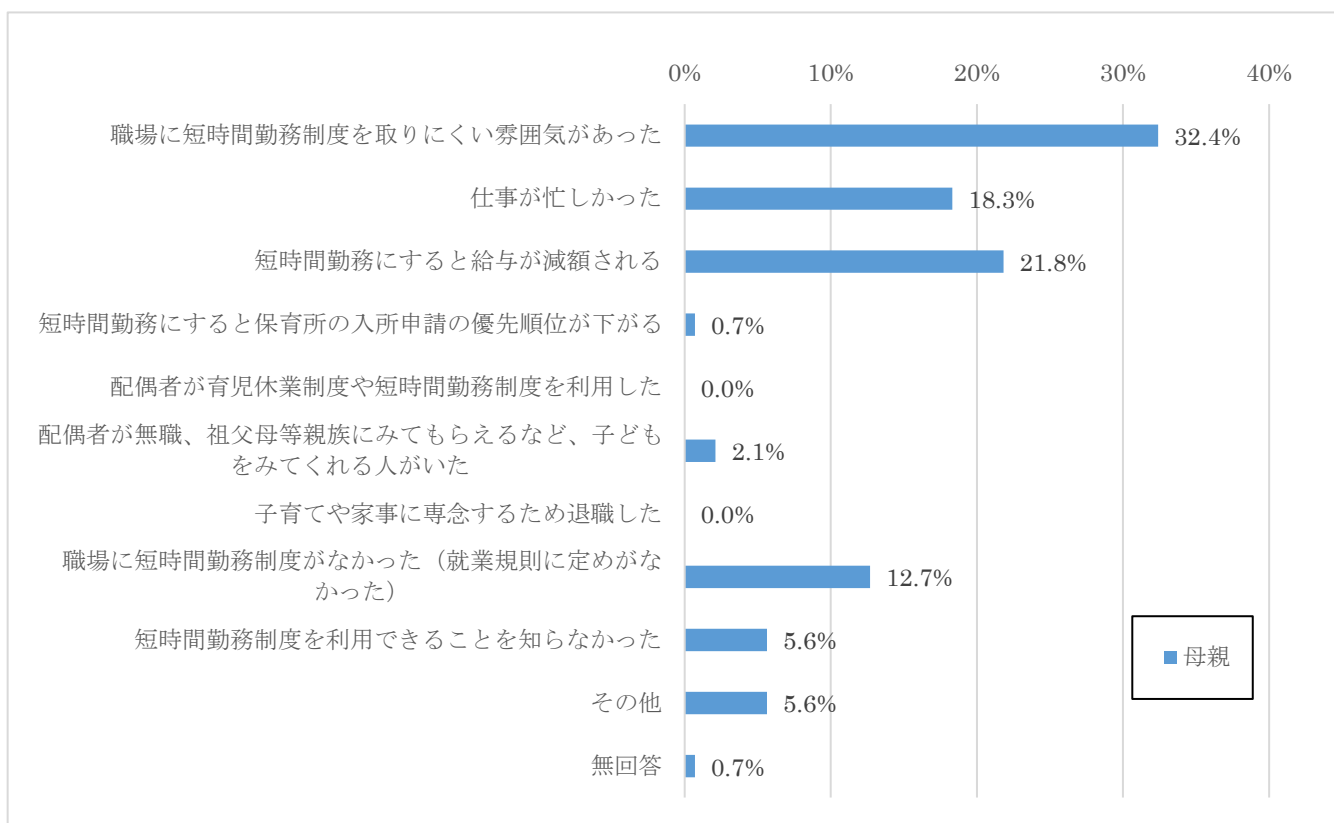
項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	67	25.8%	9	60.0%
利用した	112	43.1%	0	0.0%
利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)	75	28.8%	3	20.0%
無回答	6	2.3%	3	20.0%
回答者数	260	100.0%	15	100.0%
非該当	583	—	828	—

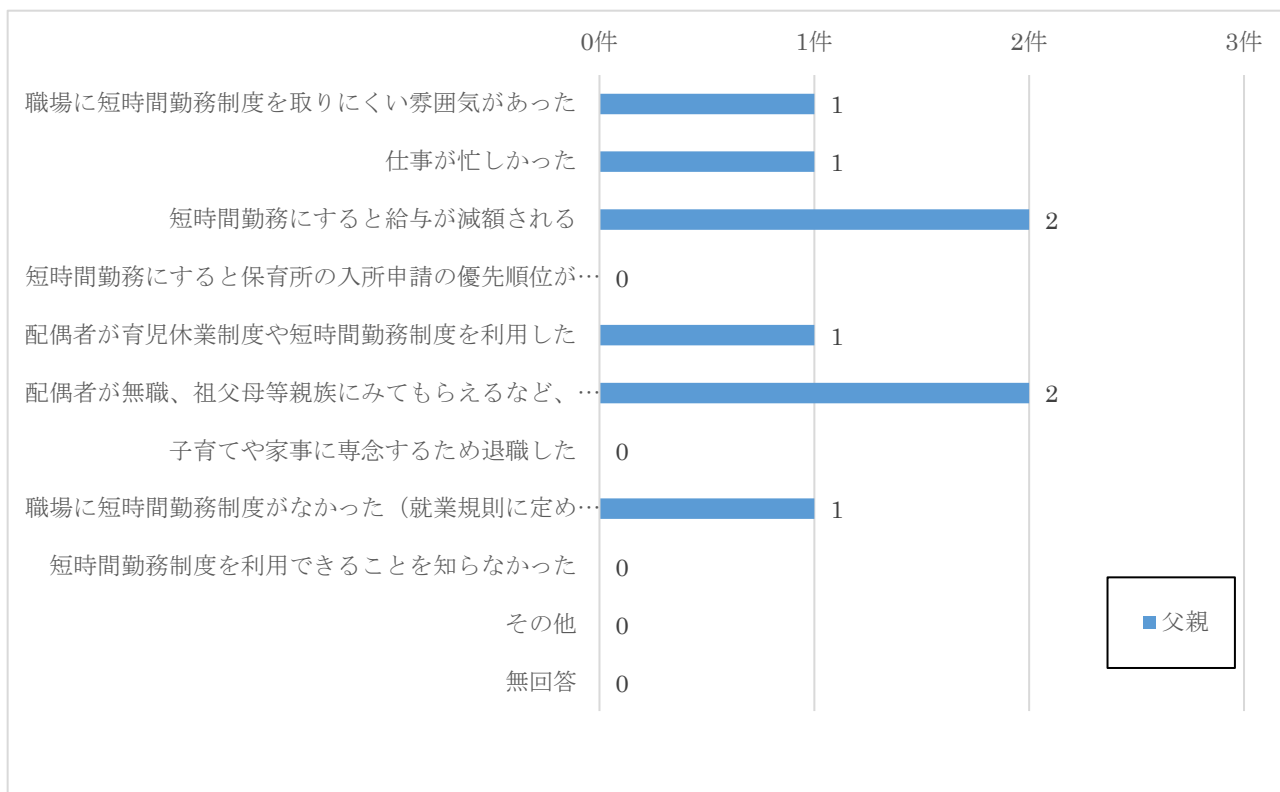
問 36-8 問 36-7 で (1) または (2) で「3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった (利用できなかった) 理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親 (2) 父親

短時間勤務制度を利用しなかった (利用できなかった) 理由は、「母親」では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」が 21.8%、「仕事が忙しかった」が 18.3%となっています。

また、「父親」では、「短時間勤務にすると給与が減額される」などの回答となってい



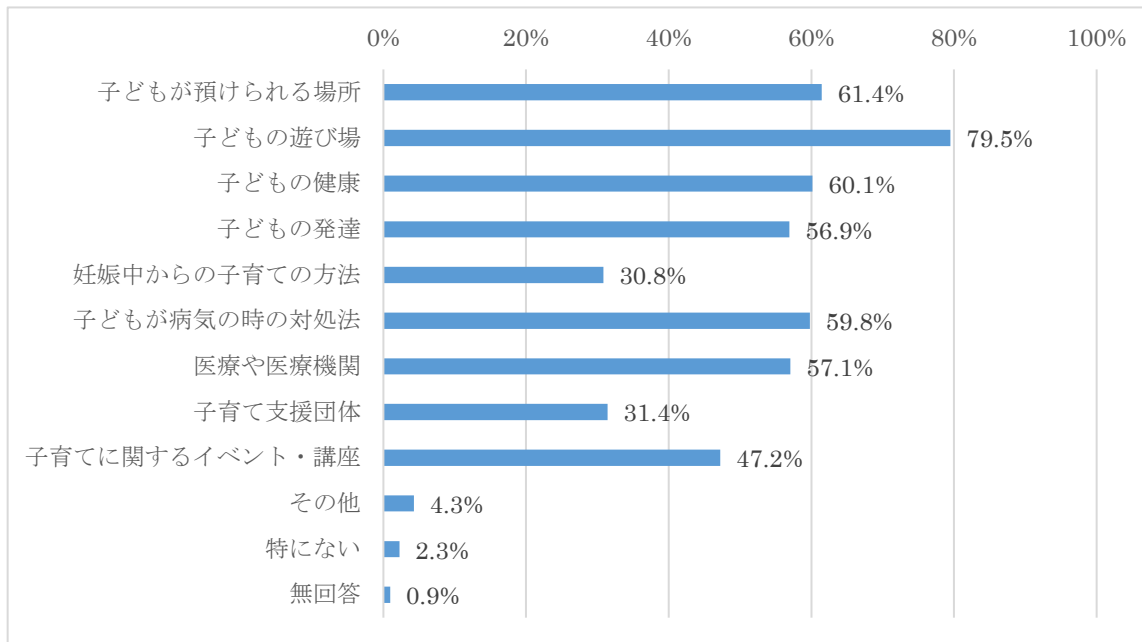


項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	46	32.4%	1	12.5%
仕事が忙しかった	26	18.3%	1	12.5%
短時間勤務にすると給与が減額される	31	21.8%	2	25.0%
短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	1	0.7%	0	0.0%
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0.0%	1	12.5%
配偶者が無職、祖父母等親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	3	2.1%	2	25.0%
子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%	0	0.0%
職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	18	12.7%	1	12.5%
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	8	5.6%	0	0.0%
その他	8	5.6%	0	0.0%
無回答	1	0.7%	0	0.0%
回答者数	75	—	3	—
非該当	768	—	840	—

12 子育ての情報や環境、子育てへの意識、市の施策について

問37 子育てに関して、どのような情報が必要ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

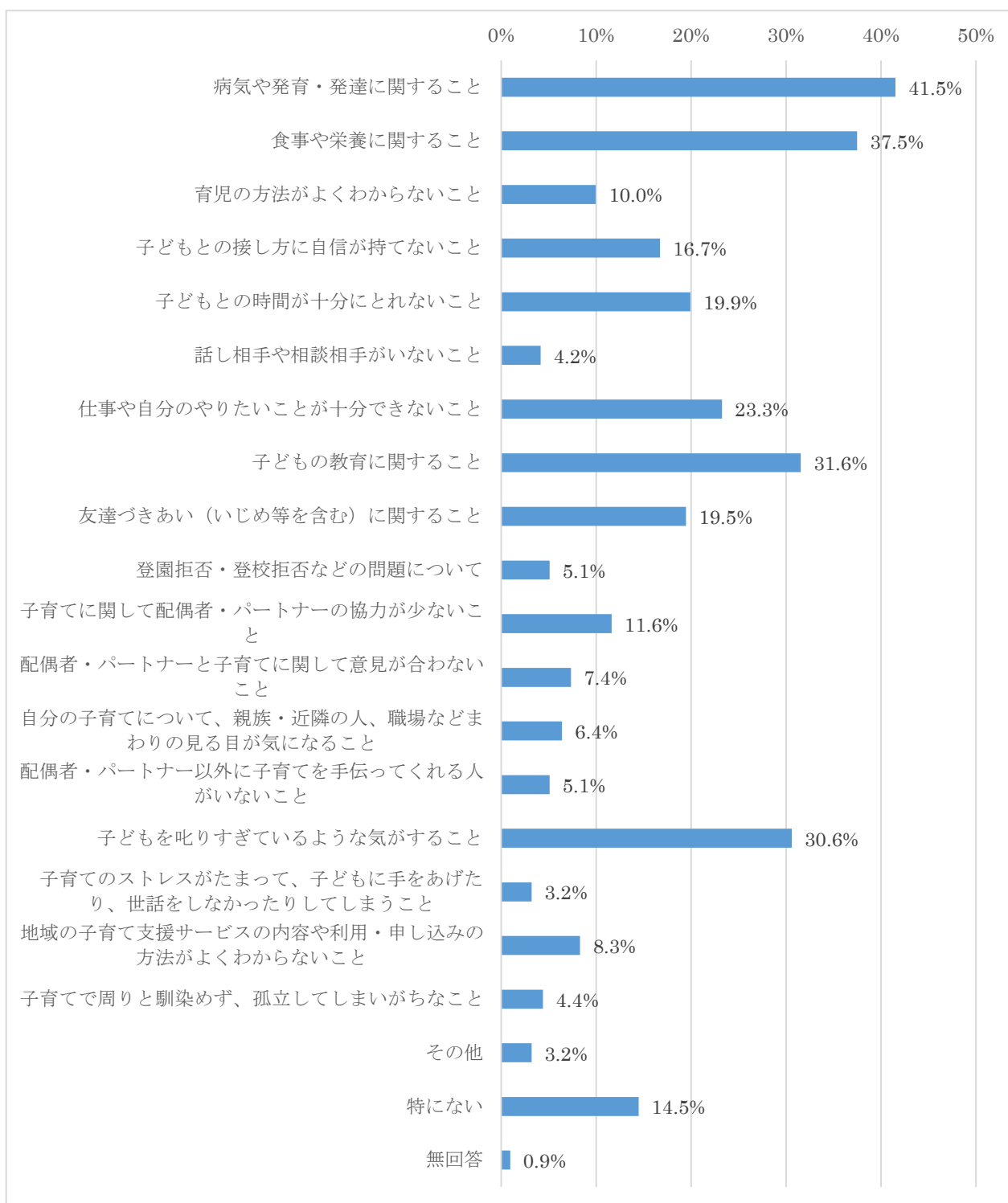
子育てに関する必要な情報としては、「子どもの遊び場（公園、児童館、公共施設などで行っている活動、育児サークルなど）」の割合が79.5%と最も高く、次いで「子どもが預けられる場所（保育所、幼稚園、一時預かり、ファミリー・サポート・センターなど）」が61.4%、「子どもの健康（病気のこと、離乳食などの食に関すること、予防接種の情報など）」が60.1%となっています。



項目	度数	構成比
子どもが預けられる場所（保育園、幼稚園、一時預かり、ファミリー・サポート・センターなど）	518	61.4%
子どもの遊び場（公園、児童館、公共施設などで行っている活動、育児サークルなど）	670	79.5%
子どもの健康（病気のこと、離乳食などの食に関すること、予防接種の情報など）	507	60.1%
子どもの発達（発達段階ごとの子どもの成長、発達心理学、発達障害など）	480	56.9%
妊娠中からの子育ての方法（妊娠中の生活、検査・検診など出産準備情報など）	260	30.8%
子どもが病気の時の対処法	504	59.8%
医療や医療機関	481	57.1%
子育て支援団体	265	31.4%
子育てに関するイベント・講座	398	47.2%
その他	36	4.3%
特になし	19	2.3%
無回答	8	0.9%
回答者数	843	—

問 38 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

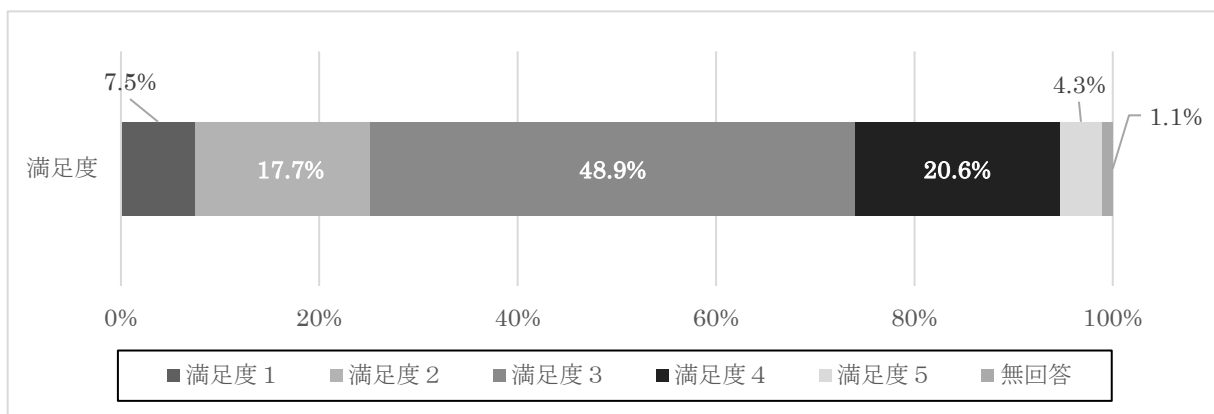
子育てに関する悩みや気になることは、「病気や発育・発達に関すること（41.5%）」「食事や栄養に関すること（37.5%）」「子どもの教育に関すること（31.6%）」「子どもを叱りすぎているような気がすること（30.6%）」の割合がそれぞれ3割を超え高くなっています。



項目	度数	構成比
病気や発育・発達に関すること	350	41.5%
食事や栄養に関すること	316	37.5%
育児の方法がよくわからないこと	84	10.0%
子どもとの接し方に自信が持てないこと	141	16.7%
子どもとの時間が十分にとれないこと	168	19.9%
話し相手や相談相手がいないこと	35	4.2%
仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	196	23.3%
子どもの教育に関すること	266	31.6%
友達づきあい（いじめ等を含む）に関すること	164	19.5%
登園拒否・登校拒否などの問題について	43	5.1%
子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと	98	11.6%
配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	62	7.4%
自分の子育てについて、親族・近隣の人、職場などまわりの見る目が気になること	54	6.4%
配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	43	5.1%
子どもを叱りすぎているような気がする	258	30.6%
子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと	27	3.2%
地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込みの方法がよくわからないこと	70	8.3%
子育てで周りとは馴染めず、孤立してしまいがちなこと	37	4.4%
その他	27	3.2%
特になし	122	14.5%
無回答	8	0.9%
回答者数	843	—

問 39 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

住まいの地域における子育て環境や支援への満足度は、「満足（「満足度4」と「満足度5」の合計）」の割合が24.9%に対し、「不満（「満足度1」と「満足度2」の合計）」が25.2%と、不満の割合がやや上回っています。



項目	度数	構成比
満足度1	63	7.5%
満足度2	149	17.7%
満足度3	412	48.9%
満足度4	174	20.6%
満足度5	36	4.3%
無回答	9	1.1%
回答者数	843	100.0%

13 子育ての環境や支援に関する意見まとめ

問 40 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育ての環境や支援に関する意見は、ニーズ調査回答者 843 人（全体の 42.2%）のうち 341 人（回答者の 40.5%）から寄せられました。意見・要望等を項目ごとに整理、件数表示し、その中からいくつかの意見を抜粋しました。

（1）意見等の内訳

項目	内容	件数	構成比
教育・保育	保育時間の延長、休日保育、保育士の確保・待遇改善 など	50	10.9%
地域子ども・子育て支援	子育て支援センター・児童館の充実、学童の新設・利用改善、一時預かり、病児・病後児保育の充実 など	82	17.9%
母親・乳幼児の健康	健診・予防接種の充実（機会・場所）、小児科医療の充実 など	49	10.7%
相談・情報提供	相談窓口の充実、情報の周知、交流の場（サークル・イベント）の開催 など	41	8.9%
障害児施策	職員の質、支援施設の充実など	8	1.7%
仕事と家庭の両立	働きやすい環境づくり など	10	2.0%
経済的負担の軽減	保育料等の無償化・補助 など	40	8.7%
遊び場	公園等の増設、施設の点検・遊具の充実、イベントの開催 など	102	22.2%
その他	歩道の整備・改善、防犯、地域づくり など	77	16.8%
	合計	459	100.0%

※意見は複数項目にわたるものがあるため合計件数と意見数は一致しません。

（2）抜粋した意見

①教育・保育

保育施設に対するそれぞれの条件などあると思うが、施設としては選べられる数があるというのは嬉しい（以前住んでいた所は数に限りがあったため）
幼稚園部分は 14 時までなど、その後は預かり保育として金額がかかるため、せめて 15 時まで保育にしてくれるとありがたいと思います（無理な要望とは思いますが・・・）。

<p>わが家では5才と3才のこどもを認定こども園に預けています。両親共働きなので、私が仕事の時は、仕事が終わる次第のお迎え、仕事が休みの時は14時のお迎えになっています。仕事が休みの時は、少しゆっくりしたいなあと思っても、その他の平日にできない銀行に行ったり買い物をしたり掃除をしたりすると、すぐ14時になってしまい、休みの日は本当に忙しくて、心が休まりません。</p>
<p>近所の保育園に通わせているが、土曜日だけ17:00までしか見てくれない。平日と同じ時間で見てほしい。仕事しているので困る。又、仕事が休みだと預かってくれない。幼稚園にも通わせたいが、もう少しグローバルな園にしてほしい。</p>
<p>通園する保育所は、土曜保育は両親共に仕事であることが絶対で、どちらかが休みであれば預けることが出来ない。私用であっても、たまには預けることが出来れば・・・と思う。</p>
<p>子供が通っている保育園は、一時預かり保育がないので、他の園で問い合わせたらいい顔されなかったの、他の園もそうなのかな・・・と思い利用できずにいます。</p>
<p>保育園の一時預かりは、急な用事（親の病気など）には対応できないと言われた。高崎市でキッズサポートかしの木がやっているように空きさえあれば、どんな理由でもいつでも預けられる施設があったらいい。保育園には子育てはお母さんがするものという考えがあるのか、産休中で標準時間保育で認定されているのに、短時間保育の時間内での預かりを求められる。制度をきちんと使えるようにしてほしい。</p>
<p>民間の子ども園の保育士は子どもの発達に合わせた関わり方、特性のある子への関わり方など研修を受けてほしい。</p>
<p>保育士の確保に力を尽くして下さい。0才児1:3、1才児1:6等の現場の厳しい基準を見直し、補助金を充てて下さい。保育料無償化になるといいです。</p>
<p>こども園の先生方に非常に感謝しています。不安なことがあれば相談させてもらい助かっています。良い先生がずっといられるようにまた人員確保がしやすい様に、先生方の給料UPをしてほしい。保育料無償化により、保育の質向上のためにお金を使ってほしい。今でも保育料は所得に応じて金額が違ったり、藤岡市は二人目半額になっているので、それでよいと思う。</p>
<p>現場で働く保育士の給料のUPと昼休みが取れていないのに、取っている事になっている現状、パート保育士がパートとしての扱いされず、正職の保育士とほぼ変わらない勤務現状が改善されない限り、保育環境も子育て環境も変わらないと思います。</p>

① 地域子ども・子育て支援

<p>子育て支援センターのような場所があると、日頃家庭では遊びに制限があるが支援センターのような所でのびのびと遊べると良い。こども園や幼稚園など子育て支援では入園している子などに気を使ってしまう部分があるので、1日遊べる場所があると良いと思う。子育て支援センター、入園前の子ども達でも気兼ねなく行ける場所があると良いと思います。</p>
--

<p>子育て支援センターの制度はとても良いと思う。他の地域に比べ、藤岡市は支援センターが充実していると思う。未就園児でも同年の友達ができるし、母親も世間と触れ合うことができ、息抜きもでき、すぐに相談ができる環境なので、制度に感謝しています。</p>
<p>子育て支援センターに1番最初に行くときのハードルが高いので、1才から利用できますだけでなく、何才くらいの子の利用が多いのかが分かったら、もっと行きやすくなると思います。</p>
<p>月に1～2度でも日曜、祝日に児童館が利用できるとありがたいです。市外には日曜日でも利用出来る児童館がありますが、わざわざ行きたくないのでも・・・。</p>
<p>児童館にクーラーをつけて欲しい。児童館の月の予定表やイベントを回覧板で知らせてほしい。</p>
<p>夏休みに児童館へ子どもを連れて行ってきました。エアコン完備をお願いしたいです。また、学童の子とは別の場所だと小さい子ももっと遊びやすいと思う。</p>
<p>夏休みなどの長期休みの時に預けられる学童などが少ないと思います。また、高学年になると人数が多いため預けられないという学童もあり、困っています。もっと増やしてもらえると嬉しいです。</p>
<p>学童負担が大きい。パートだと、夏休みなど長期間預けるとパート代よりかかる。2人以上預けるともっとつらい。そのため、低学年児でも1人で留守番させてる家庭の話聞くが、市でどうにかならないのかと思う。保育園ではなく学校に学童をつくるべきだと思う。</p>
<p>小学校で学級閉鎖になった場合、自分の子どもが健康であれば、学童を開所してほしい（他の市町村は実施しているので）。学校の敷地内に学童（社協など）を設置してほしい。</p>
<p>上の兄弟で学童を利用しているのですが、夏休み期間中や、冬休みの時だけ預けたいのに、年間を通してではないと預けられないので、仕方なく、日常から学童を利用している。しかし、親が休日の日や、仕事が終わる時間が早いと学童には預けられないので、日常はあまり利用できず、お金だけが毎月無駄に取られている感じで、不満があります。日割り計算してもらえたら良いなと思います。</p>
<p>ファミリーサポートを利用してみたいと思うが、他人に子どもを預けることに不安がある。（もと看護師とか、保育士の方なら預けたい）</p>
<p>ファミリーサポートセンターに登録しようと思ったが、手間がかかるので利用しませんでした。忙しい家庭では時間を作って窓口に行くことや、低月齢の子供を連れての手続きなどは大変なので、必要に応じて訪問、郵送などで対応してもらえたらもっと利用しやすいのでは？と思いました。</p>
<p>私は産前産後、現在もファミサポを利用しています。里帰りも出来ない私にとっては、実の母以上にサポートしてもらっています。病院の先生に下の子は？と聞かれた時に、ファミリーサポートを利用していますと話した時に”???”と、わかっていませんでした。これが現状なんだなと思いました。小児科はママたちがよく行きます。具体的にどんなサポートをしてくれるのか、もっとたくさんの方が知り、助けを必要としているママの声を拾えるようにしてほしいです。</p>

<p>学童や保育園で、土・日曜日（祝翌日）も子供を預かってほしい。自分が仕事の時だけで良いので、出来れば7時30分～18時くらいまでみてくれる所があると助かります。また、年末年始やお盆も預かってくれる所があると不安なく仕事が出来ます。</p>
<p>病児保育ですが、手続きのハードルが高すぎて、とても利用しにくいです。子どもの健康に関する事なので、気軽に預けられるのも問題だとは思いますが、なかなか利用しにくいのが現状です。ニーズ調査で生の声を聞いてくれるのはありがたい事だと思いました。</p>
<p>子供が病気の時、保育園では預かってくれません。その時、仕事も休めない場合、見てもらえる人がいないので、病児保育、小学生まで預かってもらえる施設があると助かります。インフルエンザ等長期になるととても困ります。仕事も休むと周りの人に迷惑がかかると思うと、病気になった子供にもイライラする事もあります。そういう不安がぬぐえる対策をお願いします。</p>
<p>病後児保育ではなく、病児保育の施設がほしい。祖父母が頼れない場合、仕事をするのも通院するのも不自由な状況を変えてほしい。</p>
<p>子育て支援やサークル等が少ない。高崎市から引越してきましたが、公民館や児童センター等で近い月齢の子どもやママ友と会える機会が多かった、自分が受けたい講座を選べるほどあった。</p>

② 母親・乳幼児の健康

<p>5才児健診を先日受けたが、健診日の連絡が遅い、せめて1か月半前に案内を頂けないと勤務の希望が出せない。当日半日のお休みをもらうのが大変だった。</p>
<p>健診等は、仕事を休みづらいので平日だけでなく、土曜日してほしい。</p>
<p>0才健診や〇〇健診の時間を、子供のお昼寝時間に配慮して、時間を決めてほしい</p>
<p>市の健診の時に待ち時間が長い割に、待っているスペースが狭い。内科健診の時、他の親子が沢山待っている中で診てもらうというのが気になる。上の子の時は高崎市に在住していたので、市によってかなり違いがある事にギャップを感じた。沢山ある健診や予防接種の中で、病院で受けられるものは病院で、健診は2日に分けて行うなどしてもらえたらありがたい。</p>
<p>4ヵ月健診後、離乳食教室はありますが、特に問題がなければ1歳まで健診がないのは不安でした。6ヵ月や10ヵ月の健診を行っている自治体もあるのに、なぜ藤岡市は行わないのでしょうか。母子手帳にも該当ページがあるのに空欄になってしまって残念です。</p>
<p>一人目出産後、助産師の方が訪問に来て下さったのがとても嬉しかった。現在二人目出産に伴い育休中だが、それがなくて残念。(健康推進員の方の訪問があったが、事務的というか、じっくり相談はしにくい)</p>
<p>予防接種の間診票をまとめて渡されると、予防接種を受け忘れてしまうことがあるので、受ける時期になったら郵送とかしてほしい(特に1才以降の期間が長くあくもの)</p>
<p>インフルエンザの注射も各病院で受けられると効率がいいと思う。</p>

<p>夜間に行ける病院がない。今まで突然の熱やケガで救急に電話すると、毎回案内されるのは高崎市の病院でした。立派な藤岡総合の前を通り過ぎ、苦しんでいる子供を遠くまで連れて行くのは、なんだか毎回違和感があります。もっと頑張ってもらいたいです。</p>
<p>教育・保育ではないのですが、藤岡市の病院は基本 18:00 で終了してしまうところが多く不便なことを感じます。あと、夜間のときも藤岡での対応が少ないように感じ、そこをもっと改善していただけるとありがたいです。やはり、子育てで一番困ったときは病気のための、ご検討をお願いします。</p>
<p>引越して2カ月なので、藤岡の教育などは良くわかりません。ですので、群馬県の事で書きますと、他県から4年前に引越してきましたが、小児医療の休日・夜間対応ができる所が少なすぎで大変困りました。</p>
<p>休日夜間に行ける病院が少ない。また、情報がない（調べ方が分からない）ため、分かりやすくしてほしいです。</p>

③ 相談・情報提供

<p>悩み事など気軽に相談できるよう、市役所や支援センターに出向けない場合メールなどで聞けるものがあると、家にいながら時間の空いた時など、フラットできるのでメール制度あると良いと思う。もうあるのかもしれないですが・・・。</p>
<p>子育て世代が、ストレス発散になるような買い物、息抜きができるようなカフェ。第三者なら話せる悩みもあるかもしれない、子育て世代だけでなく学生とか特に友人 or 相談員さんがいるカフェ。こういう相談とか気楽に話ができる場所が一つでもあるだけで悩んでいる人の気持ちは落ち着くと思います。</p>
<p>健診等に行けば情報が得られたりするが、家に引きこもっていると情報が得にくいので、ふじおかホットメール等でコラムだったり情報が送られてくるといいなと思います。</p>
<p>出産前（産休に入ってから）に引越してきて、場所やサービス何もかも分からなかったです。そんな人にも早い段階で情報が得られるといいです。支援や発達のサポートの場をこちらが聞かなくても情報が得られるような場所、冊子みたいなものがあるといいです。発達のサポートの場が少ないです。</p>
<p>他県出身で、藤岡には子供を妊娠中に引っ越して来ました。藤岡は子育ての環境や保育所の数やサービスなど、とても充実していると思います。しかし、そのいろいろな施設やサービスに関する情報を得るのが難しく、知人が少ない転入者にとっては「クチコミで皆知ってる」というような内容ですら知りえないことも多いので、まずはその情報を簡単に得られるしくみがほしいです。</p>
<p>私の周りは何でも話していい人たちが多くて悩みも抱える事はないです。職場の理解もあるので、事務所で子供たちを遊ばせる事もあります。ただ外国から来たママさん達は利用方法 etc よくわからないと言っています。ネパールやフィリピンの方達にも読める物を作って欲しいです。</p>

<p>転勤族に対する支援が皆無かなと思っています。過去に交流の機会はありませんでしたが、地元同士で母親グループが出来てしまい、イマイチなじみづらい印象があります。高崎市などは、転勤族も多く、そういう機会もあると聞きます。藤岡市は外様がなじみにくい印象があり、今後子どもが大きくなった時、子育てがしやすいエリアへの転居を検討しています。</p>
<p>上の子がいるので育成会にも下の子は参加していますが、そういう環境でないと入学前は知り合いがいない・・・と不安もあると思います。近所に小学生が何人いるのかも分からない。</p>
<p>お母さん同士で仲良くなれるためのイベントなど開いてみてほしい。</p>
<p>地域に子育てサークルのようなものがあると嬉しい。保育園に、1人で子供を連れて支援センターを利用するのはハードルが高い。</p>
<p>子育てに不安や心配がある人ほど、視野が狭くなり、気持ちの余裕も無くなり、負のサイクルに陥ってしまい子供がっらくなると思います。同じ境遇の方との交流を沢山必要としている方がいると聞いているし、私自身もそう思います。</p> <p>もっとサークルのような何時でも来て下さい、の場を沢山増やして欲しく、また行きやすいようカテゴリ別にしていただけると心強いです。年齢や月齢も大事ですが、子どもと同じように縦割りの活動も母親にとっては心強い知人ができる場合や道筋が見えたりし、前向きになれると思います。</p>

④ 障害児施策

<p>今回、封筒の宛名のうちの子は発達障害があるのですが、1歳半か2歳だかの市の健診でも特に何かしてくれるわけでもなく、こちらが聞いてやっとな教えてくれる、行動してくれるといった具合でした。親からしたら少しの事でも何人目の子どもでもいつでも不安です。</p>
<p>父母共に働いていますが、子供片方が発達障害児であり療育に通わせるため、仕事を継続することができず、母はやむなく退職することとなりました。送り迎えにかかる時間が足りないため、もう片方の子供は保育園を退園。高崎まで障害児、未満児と新生児（現在妊娠中）を連れて療育支援施設への送り迎えです。せめて未満児だけでも無条件に預かってくれるとありがたいのですが、送り迎えにかかる時間が足りないという条件を理由に断られました。</p>
<p>兄が自閉症ですが通級に通わせたいと思っても、仕事を早く帰らなくてはなりません。送迎してもらえたり、学校内に作ってほしいです。それと、土・日で発達の様子を見たり集団で遊んだりできる教室を開いて欲しいです。</p>
<p>長男に障害があるため、児童発達支援施設の充実化が図られると嬉しいです。</p>
<p>子供の性格をネガティブにしか見えてくれない教師や学童の先生方にもっと発達障害の子どもの勉強をしてほしいです。</p>
<p>発達が気になる子供が園でも学校でも増加している現在、親だけでは抱えきれないことも多く、情報も少ないように感じます。発達支援センターなどの専門機関があり、相談から療育まで行える場所が増え、利用しやすい環境作り、人材が必要だと思います。</p>

⑤ 仕事と家庭の両立

<p>育児休業が職場によってなかなか取りにくいのが現状、保育所などの充実よりも育児休業を取りやすい環境を作って欲しい（最低2年は育休が必要だと思う）。その為、子育て支援センターを利用できない。利用できない人のことも考えた支援が必要（利用できない人が多いと思う）。</p>
<p>職場の育児中の免除などの環境作り、意識付けをしてほしい。復帰したら、夜勤や残業は当たり前になる。子供の迎えの時間に間に合うか今から心配。</p>
<p>法律で中学校までの学生がいる母親は会社の勤務時間を18時までと決めてほしい。法律で決めてもらえたら、他の方の理解を得やすい。</p>
<p>子供が病気で仕事を休まなければならない時、会社に連絡すると、上司がすごく嫌な感じの返答をされ、辛くなります。会社に迷惑が掛かるのは分かるけど、具合が悪い我が子を自分や祖父母以外に看てもらおう気持ちにもなれませんし・・・。</p> <p>会社側も「お大事に」の一言があれば気が楽になれるのに、まだまだ働く母（女性）の環境は厳しいなと感じます。</p>
<p>対象の子どもではありませんが、今年小学校に入学した子どもがいます。母親は農業が仕事で自宅にいるからという理由で、学童保育に入るのは無理と言われました。夏休みだけでも無理でした。自宅にはいるが、農業という仕事をしています。お勤めの方とは少し違うかと思いますが、働いていることについては間違いなく同じです。学童保育の数を増やすか、人数を増やしてほしい。入所する手続きくらいさせて欲しかったです。</p>
<p>女性も働く時代になって、一人で全てをこなすことは難しいなと日々感じています。保育園のときよりも小学校のときの方が、子供たちと過ごす場が少なく、このまま仕事を続けられるのか不安に思います。</p>
<p>父親の私が、子育てを積極的に（主体的に）担いたいと忙しかった業種から、帰宅の早い仕事へと転職しました。世間の情報や広告は、”お母さんの為の〇〇”が主で、父親目線の物言いは非常に少ないのだなあと実感しています。若干、疎外感を感じる事もありますが、今後、どんどんそういった父親が、子育ての主体となる情報が増えてくると良いな、子育てが父母どちらもあたりまえになると良いなと思います。流行りの”イクメン”という言葉そのものが、”男性は育児の補助”という立場を暗に強調してしまっている様で、好きではありません。</p>

⑥ 経済的負担の軽減

<p>保育園の保育料を無料にしてほしい。仕事を頑張っても保育料を支払わなければならないのがきついです。</p>
<p>小学校の給食費は無料になりませんか？子供が多い家庭は結構負担です。</p>
<p>予防接種の補助等をもう少し手厚くしてもらえるといいと思います。</p>
<p>インフルエンザ予防接種について、会社によっては補助をしてくれる所もあるが、してもらえないと高額のお金を払うことになるので、子供だけでも補助をしてもらえると助かる。</p>

<p>藤岡は随所で子供よりお年寄りにやさしい町だと感じる。予防接種ワクチンの補助拡大（任意ワクチン）や教育の面に予算をまわしてほしい。</p>
<p>市町村によって支援の差があるので平等にしてほしい。例えば（予防接種、ロタウイルスは高崎市では定期接種で金額が負担されているが、藤岡市は任意となっている事など）</p>
<p>藤岡市は保育園の入所がしやすいと聞き、仕事復帰に合わせて他市町村から引越してきました。保育園の質もよく満足していますが、子育て世帯に対してもっと行政からの経済的支援があると移住してくる家庭も増えると思います。例えば第2子保育料無料や学童利用料援助、病児保育利用料支援、オムツ代支給など他市町村で取り組まれているような経済的援助があると非常に助かりますし、今後の藤岡の市発展、人口増加に対しても有益だと思います。</p>
<p>教育・保育にたくさんのお金がかかりすぎている。もう少し負担を減らしてほしい（市や県の方で支援してほしい。）</p>
<p>子育て世代または子どもへのサポートが少ない。以前住んでいた自治体はオムツ支給サービスや一般の施設の子育て支援サービスで利用できるポイント券の発行などがあった。</p>
<p>当たり前のことになりますが、子育てをしていく上で、多くの人の手や目が必要なこと、費用がかかること、身体的金銭的負担があり共働きをしながら数人の子供を育てていくことに、なかなか自信が持てません。もっと、金銭的身体的余裕を持たないと我が子に兄弟をつくることは難しいと思ってしまいます。</p>

⑦ 遊び場

<p>引越してきて感じたことです。子育て世代よりお年寄りが多く、少し肩身の狭い思いをしてしまう時もありました。お年寄りの皆さんにお言葉をいただくのは、以前よりありがたかったのですが、ママがイキイキと育児していないなと感じました。公園も広く開けた場所が少なく、平日などは遊びに行ってもほとんど子供がおらずびっくりしました。真冬でも真夏でも、お弁当を持って公園などに出かけていましたが、こちらでは、家にこもってしまう子供が多いなど。だんだんと引きこもるようになってしまいました。</p>
<p>子供を安心して遊ばせられる公園など、もっと充実していったらいいなと思います。衛生面も気になるので、きちんと清掃、消毒、安全点検などされていることが目に見て分かるようにもしていただきたいです。今のところ安心して遊ばせられる場所は支援センターだと思っているので・・・</p>
<p>休憩所のある所や、清潔なトイレなどの整備の整った公園が少ないように思います。もう少し行きやすい、魅力的な公園や室内で遊べる施設などがあると、嬉しいです。</p>
<p>公園などの公共施設を充実させてほしい。遊具が少ない。</p>
<p>県内の他の市には大きな遊具のある公園があるものの、藤岡市には新しい遊具のある公園が無い。新しい所に公園を造るのは難しいと思うので、他の市からも人気のある庚申山の公園の遊具を増やすか、公園を売店近くまで拡大してもらえたら環境が充実すると思います。また、ポーネルンドの室内型公園施設を図書館近くに運営検討いただけるとうれしいです。</p>

<p>子どもが遊びに行ける公園が近所にないため、もう少し近場に公園があるとよい。 雨の日に遊びに行ける室内プレイルーム（休日も使用可）な所があるとよい。</p>
<p>入園前は子育て支援センターを利用してました。入園後は入れないため、室内で遊べる所が無くて困ります。基本は外遊びですが、冬はつらいです・・・</p>
<p>休日に公園で遊んでいるが、雨の日など外で遊べない時、室内や体育館などを開放してもらいたいと思った事があります。又、どこに公園があるかが、まだよく分かっていないので、そのような情報のある手紙や雑誌などがあると良いなと思いました。</p>
<p>天候に左右されずに遊べる場所があるとありがたいです。児童館はありますが、冬場はとても寒く、保護者も小さい子も少し大変です。</p>
<p>土日など休みの日に、天気の良い日は公園などで遊べますが、雨の日に室内でお金を使わず遊べる場所がありません。家にいると飽きてしまうので、低価格で遊べる所があればうれしいです。例えば前橋の元気21のような所など、おもちゃがたくさんあり1日中遊べそうなので、藤岡にもそのような場所ができたらいいなと思います。</p>
<p>平日午後、土日祝も全天候型で開放してもらえるプレイルームがほしいです（無料）。高崎市にある「子どもなんでもセンター」等すばらしい。そんな大それた場所でもなくても、体育館や旧総合病院等現在ある建物の一部で対応してくれるだけで有難いです。</p>
<p>市内に5才くらいの子どもの満足できる遊具のある公園がない。一人っ子でなかなか同世代の子どもと遊ぶ機会がないので、子供が集まれるイベント等を開催して欲しい。</p>
<p>土日、片方の親の仕事等で遠出ししない家族も多いです。市内で幼児と参加できるイベントを増やして欲しいです。小学生以上の子供が参加できるイベントはそれなりにあるように思いますが、幼児は少ないです。個人的には有料で構わないのでファミリーコンサート等、歌や音楽の演奏のイベントを増やして欲しいです。</p>
<p>子どもが遊べる場所、イベントが少なすぎる。習い事をやっている個所が少ない（選べないものもある）。</p>

⑧ その他

<p>車の通りが激しい所でも歩道がない所があり、低学年の子を一人で歩かせるのは不安がある（県道等）。ポールだけでも立ててもらいたい。</p>
<p>待機児童の問題もなく、良い環境で子育てができていると思います。ただ、ベビーカーで散歩していると交通量が多い道でも歩道がなかったり、道がガタガタしている所があるので改善してもらえると安心して散歩ができるかなと思いました。</p>
<p>子育てとは少し違うのですが・・・歩道が充実していないので、子どもと散歩がしづらい。とても危険な思いをした事も。外に出ることが車ばかりでかわいそう。</p>
<p>藤岡市は、子育て環境の改善にとっても力を入れているなあとと思う。ただ、ゆくゆく子供が小・中学生になった際の登下校が心配。街灯が少なかったり、狭い道だが車の通りが多かったり、飛ばして走る車が多い田舎道を歩かせるのが心配。</p>

<p>最近不審者の出現率が多いので、安心して公園で遊べるように防犯カメラやパトロール他を増やして欲しい。</p>
<p>西松屋以外にも子供用品を扱う品揃え豊富なお店がほしい。チャイルドシート1つ藤岡市内では買えないのでそこが不便だと思います。</p>
<p>育成会の行事（遠出や夜の集り）などにある程度制限が必要であると思う。小さい子を連れて遅くまで出ないといけないのは非常に親にとっても子供にとっても負担である。</p>
<p>上の子が小学生の時はPTAの仕事などで夜に出かけることもあり、その時は9時すぎまで子供だけで留守番させました。今の環境や子供のことについては満足しているがPTAや学校の行事がストレスです。PTAの仕事が嫌なので、もう子供を産むことはないと思っています。PTAの仕事のことを考えるとストレスです。</p>
<p>私が子どもの頃より、地域の人達との関係が希薄だなと感じています。大人でも色んな人（嫌な感じの方など）がいるので、関わりがないのを楽しめる面もありますが、同じ地区の人なのか、そうでないのか、接する機会も少ないので分からないままにいるのも寂しいと感じます。子供のことで気になることがあったら保健センター等、頼らせていただきます。</p>
<p>子供達は藤岡の未来です。将来、自分の家族を藤岡市で持ちたいと思えるような（進学は他市他県でしたとしても就職は藤岡とか、家は藤岡に建てると言うように）、魅力的な住みよい町にしていきたいです。</p>
<p>地域とのつながりがなくなりつつ、近くに子供がいるのかわからないことが多いが、親自身のつながりがある分、いじめがないのではと思っています。地域の人とのイベントを増やし、子供だけのつながりでなく親まで巻き込んでやる体育祭など参加型の行事があるといいと思います。</p>
<p>今まで任意の制度などは利用に消極的でした。理由は自分の身内が面倒を見てくれており、市の施設等の利用の必要性がなかったからです。ただそのような環境に恵まれず、助けを必要としている方がいると思うので、その様な人達へ手厚くサポートしてあげてください。すべての子供達が健やかに育って欲しいです。きっとこのアンケートにしっかり答えてない家庭は助けが必要だと思います。</p>
<p>今回このようなアンケートを求めることは非常に重要だが、アンケートが長すぎて集中力を保つことができないと思われる。せっかくだいいリサーチができるツールなので回答率が高められる案を出してほしいと思います。</p>